

平成30年度国・県予算に対する統一要望について

平成29年5月30日  
市長公室

〈総括表〉

1 要望件数総括表

(単位：件)

要望件数			内 訳					
			国			県		
合計	新規	継続	小計	新規	継続	小計	新規	継続
36	3	33	19	1	18	17	2	15
(33)	(2)	(31)	(18)	(1)	(17)	(15)	(1)	(14)

※ ( ) 内は前回の要望件数

2 所管部署内訳

(1) 国関係

国土交通省	15
環境省	2
文部科学省	1
防衛省	1
合 計	19

(2) 県関係

文化スポーツ部	1
環境生活部	1
商工労働観光部	1
県土整備部	14
合 計	17

3 各部等の提出内訳

部 等 名	合 計	内 訳	
		国	県
総 務 部	1	1	0
市 民 部	1	0	1
環 境 部	1	1	0
商工観光部	1	0	1
建 設 部	22	11	11
都市整備部	6	4	2
玉山総合事務所	2	1	1
上下水道局	6	3	3
教育委員会	1	1	0
合 計	41	22	19

※国要望No.1及び県要望No.4は、建設部、都市整備部及び上下水道局の合同提出  
※国要望No.18は、都市整備部と教育委員会の合同提出

平成30年度 国予算に対する統一要望事項<一覧表>

※備考欄は県に対しても要望している項目

No.	頁	要望事項 (件名)	新・継	所管部署	提出部等名	備考
1	1	社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る事業の推進並びに財特法の補助率嵩上げ措置継続について	継続	国土交通省 (道路局, 都市局, 水管理・国土保全局, 住宅局)	建設部 都市整備部 上下水道局	県4
2	3	一般国道106号「都南川目道路」の整備促進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県5
3	5	一般国道106号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」の整備促進及び直轄指定区間編入について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県6
4	7	一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化整備促進及び主要地方道上米内湯沢線以南への南進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県7
5	10	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県8
6	13	一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について	継続	国土交通省 (道路局)	玉山 総合事務所	県9
7	15	都市局所管盛岡市街路事業の推進について	継続	国土交通省 (都市局)	建設部	県10
8	17	盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	
9	19	岩手県管理河川改修事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	県12
10	22	都市基盤河川改修事業の推進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	県13
11	24	一級河川北上川水系築川ダム建設事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	県14
12	26	急傾斜地崩壊対策事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	県15
13	29	盛岡市土地区画整理事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局, 都市局)	都市整備部	県16
14	31	盛岡地区かわまちづくり事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	都市整備部	
15	33	盛岡市公共下水道事業の推進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	上下水道局	
16	38	循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について	継続	環境省 (廃棄物・リサイクル対策部)	上下水道局	県17
17	40	廃止した廃棄物焼却施設の解体撤去工事費に対する交付金制度の拡充等について	継続	環境省 (廃棄物・リサイクル対策部)	環境部	
18	42	国指定史跡盛岡城跡整備事業及び国指定史跡志波城跡保存整備事業の推進について	継続	文部科学省 (文化庁・文化財部)	都市整備部 教育委員会	
19	45	防衛施設周辺整備事業(民生安定施設整備事業)による防災行政無線の整備推進について	新規	防衛省 (整備計画局)	総務部	

※○囲みは重点要望事項

平成30年度 県予算に対する統一要望事項<一覧表>

※備考欄は国に対しても要望している項目

No.	頁	要望事項 (件名)	新・継	所管部署	提出部等名	備考
1	47	スポーツ推進施策の充実強化について	継続	文化スポーツ部	市民部	
2	48	水道施設の耐震化等の推進について	新規	環境生活部	上下水道局	
3	51	市町村連携イベントの推進について	新規	商工労働観光部	商工観光部	
4	52	社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る事業の推進並びに財特法の補助率嵩上げ措置継続について	継続	県土整備部	建設部 都市整備部 上下水道局	国1
5	53	一般国道106号「都南川目道路」の整備促進について	継続	県土整備部	建設部	国2
6	54	一般国道106号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」の整備促進及び直轄指定区間編入について	継続	県土整備部	建設部	国3
7	55	一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化整備促進及び主要地方道上米内湯沢線以南への南進について	継続	県土整備部	建設部	国4
8	56	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国5
9	57	一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について	継続	県土整備部	玉山 総合事務所	国6
10	58	都市局所管盛岡市街路事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国7
11	59	盛岡市内の県道の整備促進について	継続	県土整備部	建設部	
12	62	岩手県管理河川改修事業の促進について	継続	県土整備部	建設部	国9
13	63	都市基盤河川改修事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国10
14	64	築川ダム建設事業の促進について	継続	県土整備部	建設部	国11
15	65	急傾斜地崩壊対策事業の促進について	継続	県土整備部	建設部	国12
16	66	盛岡市土地区画整理事業の推進について	継続	県土整備部	都市整備部	国13
17	67	循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について	継続	県土整備部	上下水道局	国16

#### 4 今後の要望日程について

要望項目	要望日程	要望先
岩手県議会議員に対する要望説明	平成29年6月1日	盛岡選挙区選出岩手県議会議員
国に対する統一要望	平成29年7月12日 (予定)	各省庁, 岩手県選出国会議員
県に対する統一要望	平成29年7月28日 (予定)	岩手県盛岡広域振興局長

平成 30 年度

国・県予算に対する統一要望事項（案）

# 国予算に対する統一要望事項

## 社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る事業の推進並びに財特法の補助率嵩上げ措置継続について

盛岡市では、「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」を将来像に掲げ、<sup>なたやちよう</sup> 鉾屋町をはじめとする歴史的街並みを活用した地域の活性化や、時代の変化に合わせた新たな手法を盛り込んだ土地区画整理事業等による都市基盤の整備、「もりおか交通戦略」による都市活動を支える交通を中心とした交通環境の構築などの各種施策のほか、地域の活力ある社会経済の維持を目的に、東日本では初となる盛岡広域8市町による「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、その推進に取り組んでいるところであります。

このような状況の下、社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金は、地域の実情に応じて柔軟な活用が可能な創意工夫を生かせる一括交付金であり、本市においては、連携中枢都市圏の交通ネットワークの構築や円滑な都市活動及び安全な交通の確保をはじめ、インフラの長寿命化計画を踏まえた老朽化対策、通学路の歩道空間の確保や踏切道の拡幅等による安全対策、無電柱化による歴史的町並み等の景観形成、河川整備や下水道整備による市街地の浸水対策や健全な水環境・良好な水循環の創出など住民の安全で快適な生活環境の確保等、市民生活の向上に大きく寄与しております。整備によるストック効果としては、ここ数年本市への観光客入込数が増加しており、今後においても安全・安心な都市基盤施設の構築はもとより、交通ネットワークの構築による経済活動における生産性の向上や観光等の交流人口増加による賑わいの創出に繋がるものと期待しております。

このような中、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」（以下、財特法。）の規定による補助率等の嵩上げ措置が平成29年度末で切れ、平成30年度から地方負担が増加することになれば、自治体運営に大きな影響を与えることとなります。

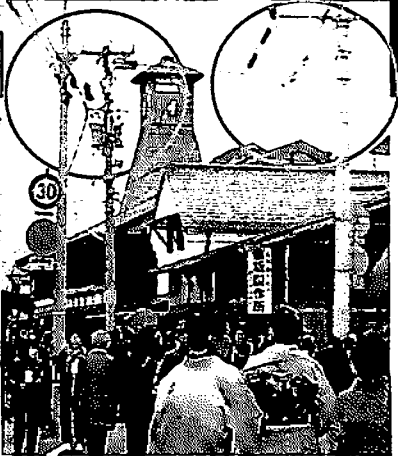
つきましては、本交付金の特性を存分に発揮し、滞りなく事業を推進するため、事業費の確保及び財特法の平成30年度以降の継続について要望いたします。

# 社会資本整備総合交付金事業を活用した鉈屋町の活性化 ～地域住民との協働によるまちづくりにより様々なイベントを開催～

居住ゾーン
環境保護ゾーン
賑わいゾーン



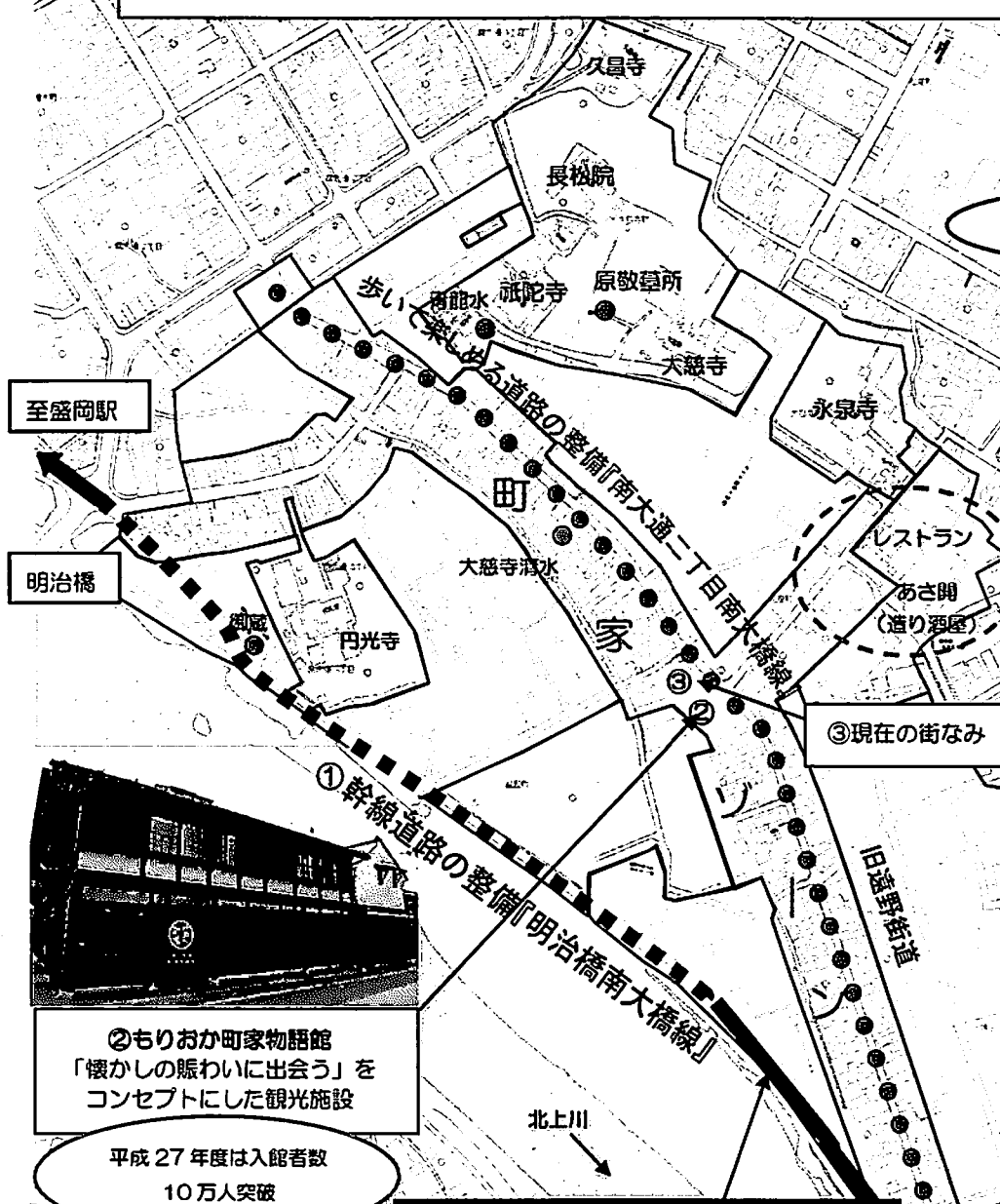
「盛岡町家旧暦の雛祭り」の様子



今後の整備完成予定図（無電柱化）

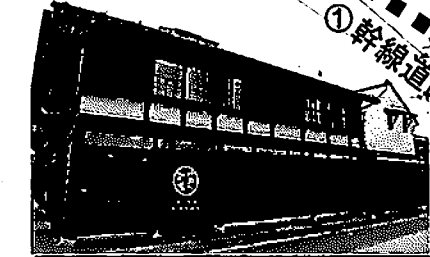


至国道 4 号



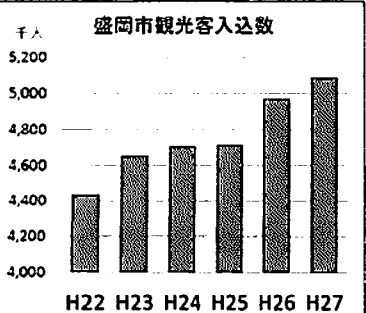
至盛岡駅

明治橋



② もりおか町家物語館  
「懐かしの賑わいに会おう」を  
コンセプトにした観光施設

平成 27 年度は入館者数  
10 万人突破



盛岡市のまちづくりにより、着実に観光客  
が増加している。

① 交付金により整備した道路  
(国道 4 号交差点の渋滞が解消)



南大橋



## 一般国道 106 号「都南川目道路」の整備促進について

一般国道106号は、太平洋沿岸の重要港湾宮古港を有する宮古市を起点として、県都盛岡市に至る延長約100Kmの路線であり、一般国道46号と連結し、日本海沿岸の主要都市秋田市を結ぶ県央部横軸を形成し、岩手県の産業・経済・文化の交流や観光開発等において大きな役割を担う極めて重要な路線であります。

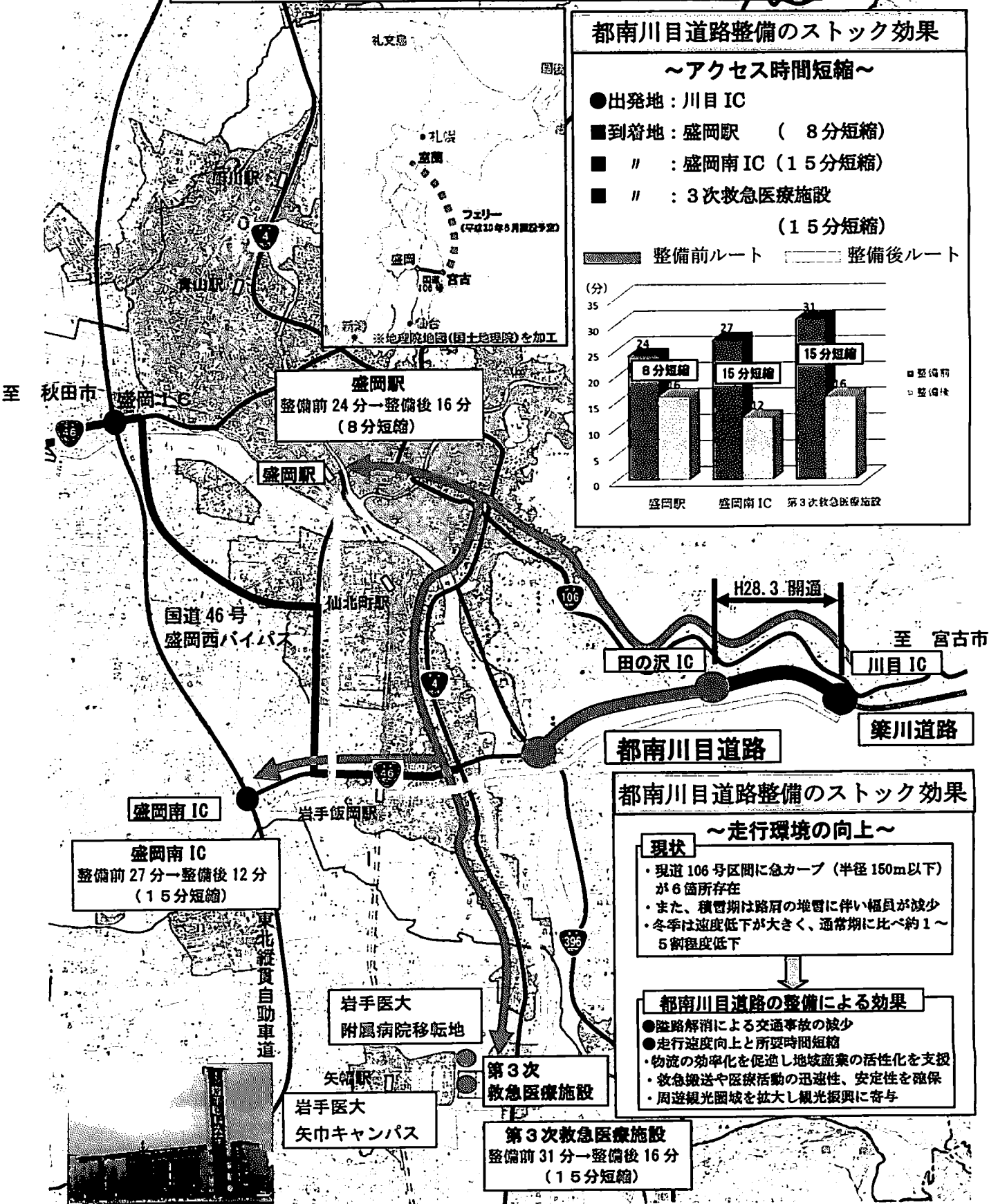
また、東北縦貫自動車道及び東北新幹線による中央と東北を結ぶ縦の高速交通軸の効果を北東北全域に波及させ、国土の均衡ある発展に寄与する重要路線であり、特に宮古盛岡横断道路は、宮古市を中心とした三陸沿岸地区と盛岡都市圏との強力な連携を促進することにより、産業経済の活性化とあわせて、三陸沿岸地区の早期復興を支援する道路でもあります。平成30年6月には、宮古～室蘭フェリー一定期航路開設が予定されており、北海道と東北、首都圏間の交流・物流の活性化により、東北の復興を後押しし、港湾と道路のストック効果の発現が期待されています。

このような中、国におきましては、平成24年度から、新たに宮古～箱石間、平津戸・岩井～松草間、区界～築川間の3工区48Kmが本格的に事業着手され、平成25年3月には、「築川道路」が供用開始されたところであり、平成28年3月には、「都南川目道路」の川目IC～田の沢IC間が供用となり、着実に事業に取り組んでいただいております。

一般国道106号「都南川目道路」は、東北縦貫自動車道とのアクセスの強化、盛岡市中心部へのアクセス向上や高次医療施設への救急搬送を担う重要な区間ともなっております。

つきましては、広大な面積を有する岩手県において、災害に強い県土を構築し、豊かな地域資源を活かした地域づくりの実現と、「ひと・まち・未来が輝き世界につながる盛岡」の実現のために、一般国道106号「都南川目道路」の整備促進について要望いたします。

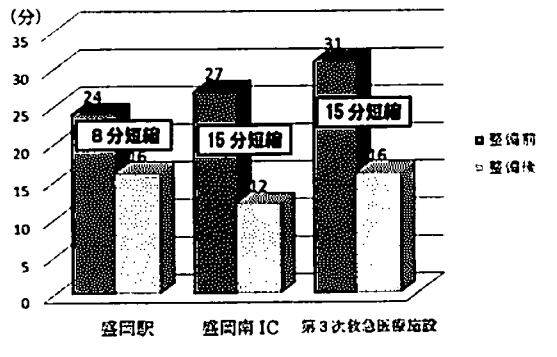
# 一般国道 106 号「都南川目道路」の整備促進要望図



## 都南川目道路整備のストック効果

～アクセス時間短縮～

- 出発地：川目 IC
  - 到着地：盛岡駅 ( 8 分短縮)
  - " : 盛岡南 IC ( 15 分短縮)
  - " : 3 次救急医療施設 ( 15 分短縮)
- 整備前ルート   
  整備後ルート



**盛岡南 IC**  
整備前 27 分→整備後 12 分  
( 15 分短縮)

**盛岡駅**  
整備前 24 分→整備後 16 分  
( 8 分短縮)

**第3次救急医療施設**  
整備前 31 分→整備後 16 分  
( 15 分短縮)

## 都南川目道路整備のストック効果

～走行環境の向上～

- 現状**
- ・現道 106 号区間に急カーブ (半径 150m 以下) が 6 箇所存在
  - ・また、積雪期は路肩の堆雪に伴い幅員が減少
  - ・冬季は速度低下が大きく、通常期に比べ約 1 ～ 5 割程度低下

### 都南川目道路の整備による効果

- 隆路解消による交通事故の減少
- 走行速度向上と所要時間短縮
- 物流の効率化を促進し地域産業の活性化を支援
- 救急搬送や医療活動の迅速性、安定性を確保
- 周遊観光圏域を拡大し観光振興に寄与

## 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」の整備促進及び直轄指定区間編入について

一般国道 106 号は、太平洋沿岸の重要港湾宮古港を有する宮古市と県都盛岡市を結ぶ延長約 100 km の路線であり、東日本大震災の際には、緊急輸送道路の「くしの歯作戦」の一路線として、迅速な救助活動、救援物資の搬送ルートとして利用され、現在「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」として、国の権限代行により整備にご尽力いただいているところです。

本路線は、宮古・盛岡間の移動時間が短縮され、物流の効率化促進はもちろんのこと、これに伴う地域産業の活性化、周遊観光圏域の拡大による経済効果、沿岸部から内陸部の高次医療施設への救急搬送や医療活動の安定性・迅速性の確保ができるなど、「ストック効果」の発揮が大いに見込める路線であります。

また、盛岡市と日本海沿岸の主要都市である秋田市を結ぶ一般国道 46 号・13 号とあわせて、太平洋と日本海を結ぶ、国土軸を形成する重要路線でもあります。

一方、本路線は、北上高地特有の急峻な地形のため、トンネルや高架橋による整備により、高度な維持管理に関する技術が必要とされます。また、全区間延長の約 40% を超える区間が別線であり、別線整備区間の現道における既存集落については、生活道路としての機能確保、バス路線維持等の自治体としての新たな役割が必要と見込まれており、国と地方自治体の役割分担による適切な管理が望まれます。

つきましては、東日本大震災からの早期復興に向け、災害時や冬期間の道路交通の確保を一段と確かなものとし、三陸沿岸地区と内陸との強力な連携により北東北地域の産業・経済・文化の交流、豊かな地域資源を活かした観光誘客等の促進を図るとともに、国と地方自治体の役割分担による適切な維持管理が図られるよう、次のことを要望いたします。

### 記

- 1 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」の整備促進を図ること。
- 2 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」については、国が直轄で管理すること。

# 宮古盛岡横断道路(復興支援道路)整備促進・直轄指定区間編入要望図

## 航路開設に伴い期待される効果

- ・観光振興、修学旅行生の誘致
- ・北海道と本州を結ぶ物流の活性化
- ・新規雇用や地元食糧の消費拡大

## 県内免のフェリー定期航路計画 (平成30年6月開設予定)

(宮古港)

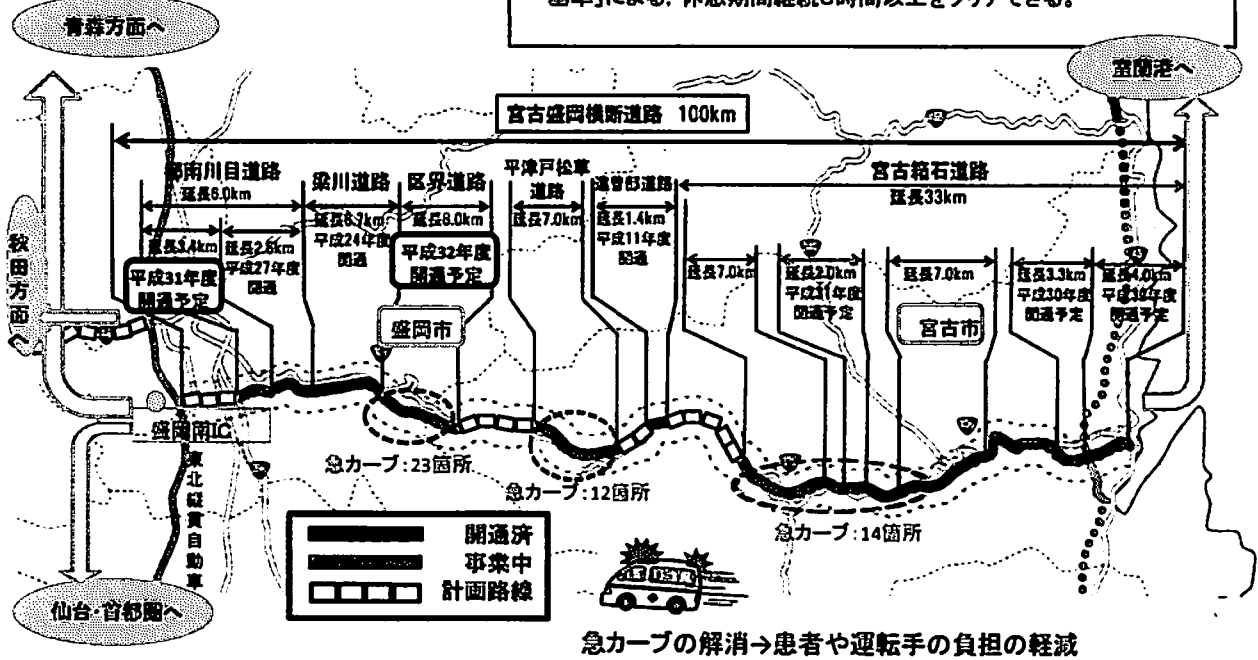
(室蘭フェリーターミナル)



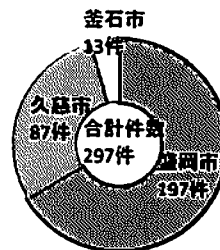
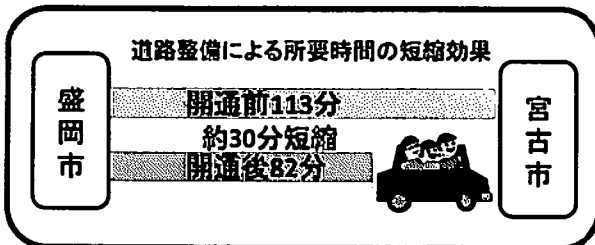
速力20ノットで10時間



◎ 労働大臣告示「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」による、休息期間継続8時間以上をクリアできる。



## ◆宮古地区の管外搬送先内訳(H26)



約7割が盛岡市へ搬送

岩手河川国道事務所HPより引用

## 宮古盛岡横断道路整備による整備効果

### 救急搬送や医療活動の迅速性・安定性を確保

- ・急カーブ49箇所の解消により安定した救急搬送が可能となる。
- ・宮古盛岡横断道路の開通により時間短縮(宮古-盛岡間で約30分短縮)が図られる。
- ・事故や災害時の代替路が確保される。

### 物流・観光の広域化・活性化を実現

- ・岩手初のフェリー定期航路(宮古港-室蘭港)の実現により宮古港から県内外へのアクセスが大幅に向上する。
- ・新幹線を利用した周遊型観光が可能となる。
- ・輸送時間が短縮されれば、海産物が鮮度の高い状態で届けられ、売り上げ拡大につながる。

## 一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化整備促進及び主要地方道上米内湯沢線以南への南進について

一般国道46号「盛岡西バイパス」は、盛岡都市圏西側の環状道路の一部の機能を担う重要な路線であり、一般国道106号と連絡し、秋田市～盛岡市～宮古市を結ぶ地域連携軸を形成する重要な路線となっております。

復興支援道路として整備が進められている宮古盛岡横断道路の都南川目道路については、平成31年度供用の目標宣言がされており、主要地方道上米内湯沢線を経由した東西の広域連携を強化するものと確信しております。

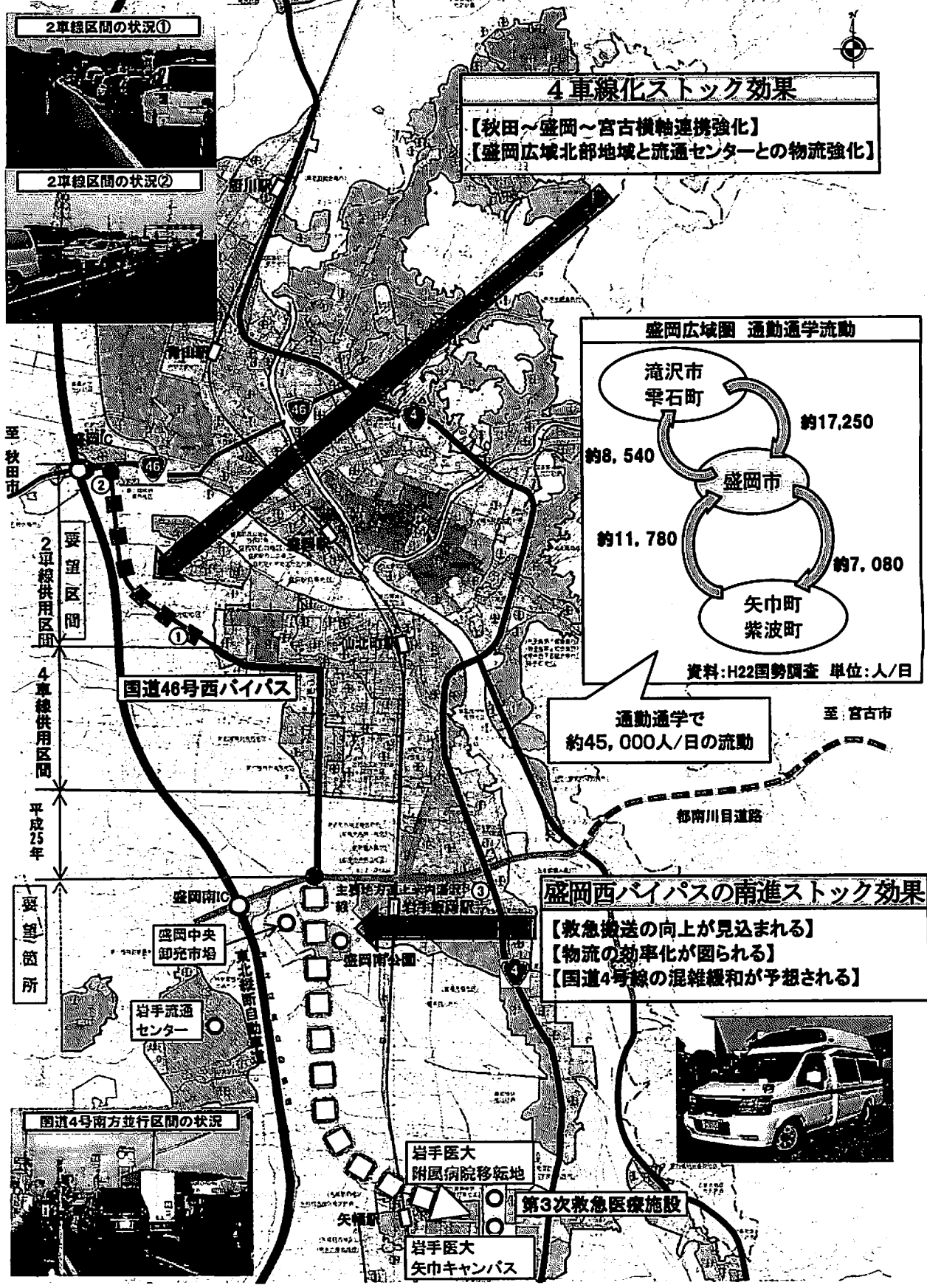
国道46号の盛岡西バイパスの南端と接している主要地方道上米内湯沢線の沿線は、盛岡流通センターや盛岡市中央卸売市場、JR盛岡貨物ターミナル等、物流施設が立地し、また、国道4号や国道46号盛岡西バイパス並びに東北縦貫自動車道盛岡南IC、国道106号都南川目道路が接続している道路環境にあることから、交通が集中し、国道4号や上米内湯沢線、その周辺道路に慢性的な渋滞が発生しております。

本市においては、人口減少や少子高齢化に対応した持続可能な都市圏域を形成する中心都市として、医療等の高次都市機能の集積強化を推進するコンパクト&ネットワークの形成を図っていく必要があります。

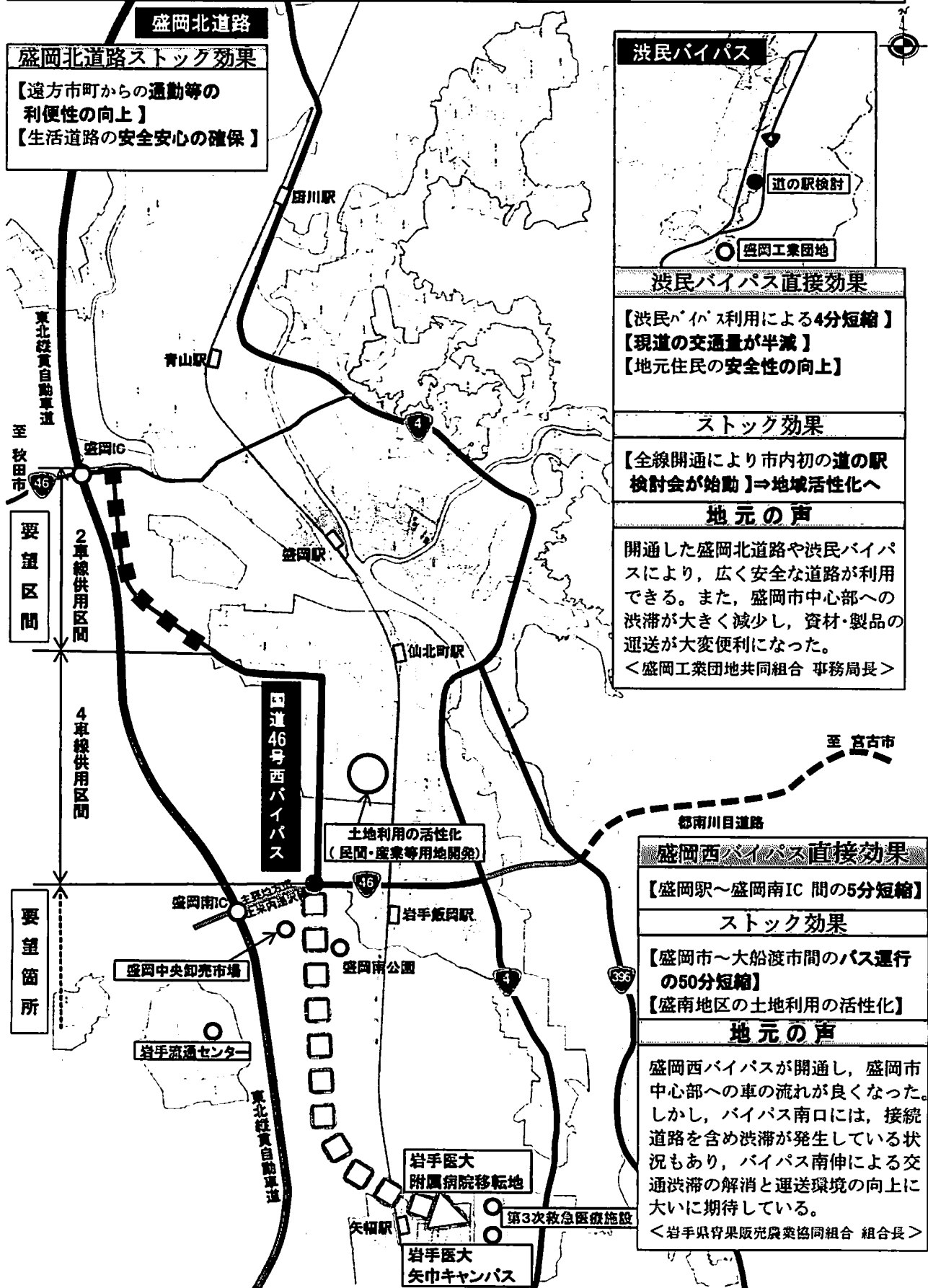
特にも、盛岡広域圏では、医療救急の中核を担う岩手医科大学附属病院を中心とした医療体系の構築が課題の一つとなっており、この医療体系を効率的に機能させるためには、一般国道をはじめとする主要幹線道路等のネットワーク形成が重要となっております。

つきましては、盛岡市を中心とした連携中枢都市圏の圏域人口の維持、持続可能な経済・産業圏域の形成、高次都市機能の集約強化を図るとともに、渋滞がなく効率的な都市圏道路ネットワークの形成のため、国道46号盛岡西バイパスの4車線化及び上米内湯沢線以南への延伸について要望いたします。

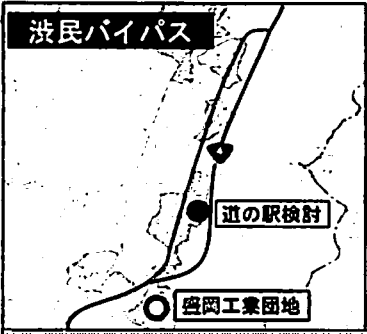
# 一般国道46号「盛岡西バイパス」の4車線化整備促進及び延伸要望図



# 4車線化及びバイパス整備による直接効果とストック効果の状況



**盛岡北道路ストック効果**  
 【遠方市町からの通勤等の  
 利便性の向上】  
 【生活道路の安全安心の確保】



**渋民バイパス直接効果**  
 【渋民バイパス利用による4分短縮】  
 【現道の交通量が半減】  
 【地元住民の安全性の向上】

**ストック効果**  
 【全線開通により市内初の道の駅  
 検討会が始動】⇒地域活性化へ  
**地元の声**

開通した盛岡北道路や渋民バイパスにより、広く安全な道路が利用できる。また、盛岡市中心部への渋滞が大きく減少し、資材・製品の運送が大変便利になった。  
 <盛岡工業団地共同組合 事務局長>

**土地利用の活性化  
 (民間・産業等用地開発)**

**盛岡西バイパス直接効果**

【盛岡駅～盛岡南IC間の5分短縮】  
**ストック効果**  
 【盛岡市～大船渡市間のバス運行の50分短縮】  
 【盛南地区の土地利用の活性化】  
**地元の声**

盛岡西バイパスが開通し、盛岡市中心部への車の流れが良くなった。しかし、バイパス南口には、接続道路を含め渋滞が発生している状況もあり、バイパス南伸による交通渋滞の解消と運送環境の向上に大いに期待している。  
 <岩手県青果販売農協同組合 組合長>

## 道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点を目指し、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、歩行者の安全確保や道路事情の改善を図るためには、道路整備の実情は未だ十分とはいえない状況にあり、広域連携等の推進を図るための道路整備をはじめとして、学校、警察、道路管理者による通学路の緊急合同点検結果を踏まえた交通安全施設の整備が急務となっております。

本市においては、人口減少、少子高齢社会に向けた取組として、東日本で初となる連携中枢都市圏として、盛岡広域の連携した取組を進めており、滝沢市、矢巾町との結びつきやネットワークの強化を図るなどにより両市町との一体的な発展を図るため、都市圏ビジョンに位置付けられた重要な基幹道路の整備が求められております。

また、市街地を3河川（北上川<sup>きたかみがわ</sup>、中津川<sup>なかつがわ</sup>及び雫石川<sup>しずくいしがわ</sup>）が流れ、多くの橋を有しておりますが老朽化しており、このほど制定された「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を踏まえた、災害時にも対応した適切な長寿命化対策が課題となっております。

つきましては、道路局所管盛岡市道路整備事業の着実な推進に加え、道路インフラの老朽化対策として、予算の安定的な確保及び人材育成のための研修制度等の充実について要望いたします。

区分	路線名	要望地区	工種
継続	津志田白沢線 (連携中枢都市圏路線)	永井地区	道路改築
〃	谷地頭線 (連携中枢都市圏路線)	厨川地区	〃
〃	岩手公園開運橋線	菜園地区	交通安全
〃	東中野門線	東中野地区	〃
〃	南大橋明治橋線	鉾屋町地区	〃
〃	岩手飯岡駅東西自由通路	永井地区	〃



# 道路局所管道路整備事業に係る要望箇所図



滝沢市

滝沢市との広域連携強化  
(連携中枢都市圏ビジョン)

盛大附高

城北中

厨川駅

北厨川小

## ② 通学路の安全確保



## ③ 中心市街地の快適な歩行空間創出



## ④ 通学路の安全確保



## 道路整備事業の効果

### 現状

- ◆交通量の多い通学路等において歩行者が危険にさらされている。
- ◆車道幅員も狭いため、安全性やアクセス機能の面で支障をきたしている。
- ◆中心市街地では電柱が歩行空間を狭め、冬季は積雪凍結により歩行困難な状況。
- ◆車両だけではなく歩行者におきても、地

### 道路整備による効果

- ◆交通環境の改善により歩行者、車両の安全確保
- ◆電線地中化や融雪による中心市街地の歩行者空間の快適性向上
- ◆道路新設や自由通路整備による地域間交流と活性化期待

番号	路線名等
①	津志田白沢線
②	谷地頭線
③	岩手公園開運橋線
④	東中野門線
⑤	南大橋明治橋線
⑥	岩手飯岡駅東西自由通路

観光地への  
アクセス向上

県庁

市役所

盛岡駅

盛岡城跡公園

中心市街地への  
アクセス向上

中野小

通学路の  
安全確保

駅東西交流  
地域活性化

主要地方道1号内湯沢線

岩手飯岡駅

矢巾町

矢巾町との広域連携強化  
(連携中枢都市圏ビジョン)

# インフラ老朽化対策の取組み ～上の橋橋梁補修工事の事例～

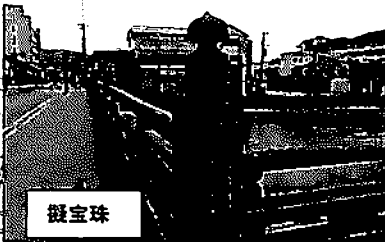
## 【上の橋の歴史】

上の橋は、盛岡城築城に併せて慶長14年(1609)に架設され、以来、数度の洪水により、流失を繰り返しながら、昭和10年(1935)に、現在のコンクリート橋に架け替えられた。

また、架設当時から高欄に設置されている擬宝珠(ぎぼし)は、国の重要美術品に指定されており、身近な文化財として市民や観光客に親しまれている。



老朽化が進み、ここ数年、損傷を繰り返していた。



擬宝珠

明治43年の大洪水時には、地区の人たちにより、取り外され、流失を逃れた擬宝珠



床版の損傷状況

## 【期待されるストック効果】

- ・安全な通行(約1万台/日)が確保された。
- ・補修に併せた歩道融雪装置の設置により、冬季、歩行者の安全で快適な通行が確保される。
- ・散策観光ルートに組み込まれており、更なる観光客等の増加が期待される。



補修工事完了後



## 一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について

一般国道4号渋民バイパスは、盛岡市<sup>しぶたみ</sup>渋民<sup>おおまえだ</sup>字大前田から<sup>たまやま</sup>玉山馬場<sup>ば</sup>字川原<sup>かわはら</sup>に至る約5.6kmのバイパスであり、暫定2車線として整備が進められ、平成16年12月には渋民字大前田からの約2.5kmの区間が開通し、平成27年4月に玉山馬場字川原に至る全線が開通しております。

これにより、旧玉山村の市街地を通過する旧国道4号の交通量は半減し、特に、大型車車輛の激減により、通学路の安全性が確保されるなど、地域の安全で安心な道路環境が確保されました。

道の駅構想については、平成6年頃から検討され、平成7年には一部用地を確保していたものでありますが、平成27年4月に国道4号渋民バイパスが全線供用されたことを受け、盛岡市として初の道の駅の整備に向け、市の各部局をあげて整備方針の具体的な検討を始め、平成28年度には基本計画の作成に着手し、地域住民や関係団体の協力のもと、計画策定を進めております。

本市の目指す道の駅は、姫神山や岩手山の眺望をいかしながら、石川啄木記念館や旧尋常小学校の建築物など、啄木ゆかりの施設との連携により、啄木が愛した原風景や過ごした時間を感じていただける施設であるとともに、渋民バイパス利用者の休憩場所・道路情報等の提供場所として、道路利用者や地域住民の交通安全の確保と利便性向上を図るほか、地域産業である、付加価値のある農畜産物の販売や素材を生かした食をテーマとする地域振興の拠点施設となり、また、啄木を愛する地域住民や子ども達の集いの場となる施設であります。

つきましては、渋民バイパスの全線開通を契機に、地域資源を活用した地域再生を図るため、早期の整備が必要となっている状況にありますことから、当該道の駅整備の着実な推進についてご配慮いただきたく要望いたします。

一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備促進要望図

【道の駅の整備効果】

- ・国道4号沿いの道の駅として、花巻市「道の駅石鳥谷」から岩手町「道の駅石神の丘」までの約63km区間の道の駅空白区間での休憩・交通情報提供機能の確保による交通安全の確保、利便性向上
- ・盛岡市の北の玄関口として観光情報の提供による観光振興
- ・近接地で整備予定の玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館との連携や地域情報発信による観光振興・盛岡ブランド力の向上
- ・道の駅での物産品、農産品の販売・加工等による産業振興、雇用確保
- ・交流人口増加や道の駅利用者の誘導による旧国道4号周辺の商店街等を含めた地域の活性化
- ・防災機能の導入による、地域の防災力向上、道路利用者の安全確保



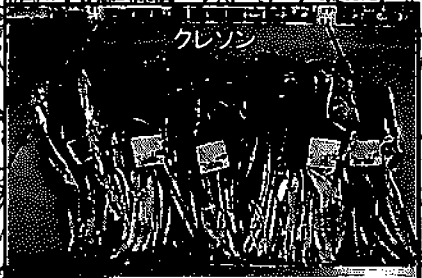
石川啄木記念館  
(歴史民俗資料館整備予定)



行者にんにく・黒平豆



クレンソウ



旧尋常小学校・齊藤家



巫神山



交通量：国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所調べによる

## 都市局所管盛岡市街路事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点都市を目指し、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、既成市街地は、城下町特有である道路の整備率の低さのため多車線道路が少なく、バス等の公共輸送機関が有効に機能しない状況となっております。さらに、新市街地の形成や隣接市町への市街地の拡大等により交通需要は増加傾向にあり、既成市街地の主要道路や中心市街地へ連絡する幹線道路等は、恒常的な交通混雑を引き起こし、円滑な都市活動や安全な交通の確保等が著しく阻害されており、街路の整備が急務となっております。

本市においては、「もりおか交通戦略」を立案し、バスを中心とした公共交通軸の充実・強化や中心市街地へのアクセス交通を分散誘導の実現を図るべく交通政策と一体となった街路事業に取り組んでいるところであります。

つきましては、都市局所管盛岡市街路事業の着実な推進についてご配慮いただきたく要望いたします。

区 分	路 線 名	要望地区	工 種
継 続	<small>なしのきちようかみよない</small> 梨木町上米内線	梨木町地区外	道路改築
〃	<small>もりおかえきみなみおおどおり</small> 盛岡駅南大通線	<small>おおさかわら</small> 大沢川原地区	〃
〃	<small>めいじばし</small> 明治橋大沢川原線	<small>おおどおり</small> 大通地区外	〃

# 都市局所管街路事業に係る要望箇所図

滝沢市

## 道路整備事業の効果

### 現状

- ◆車道幅員が狭いため、安全性やアクセス機能の面で支障をきたしている。
- ◆交通量の多い通学路等において歩行者が危険にさらされている。
- ◆中心市街地では電柱が歩行空間を狭め、冬季は積雪凍結により歩行困難な状況。



### 道路整備による効果

- ◆バス専用・優先レーンによる公共交通軸を形成することで、公共交通利用促進と中心市街地の交通環境の向上
- ◆都心を囲む道路形成により、中心市街地の歩行者・自転車の回遊性の向上

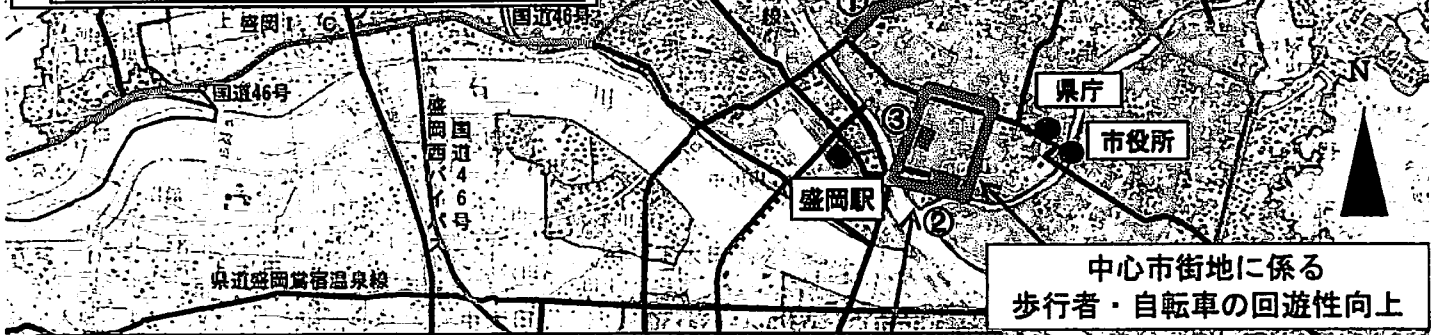
## 公共交通軸形成による中心市街地交通環境向上



リバーシブルレーンによるバス走行レーン

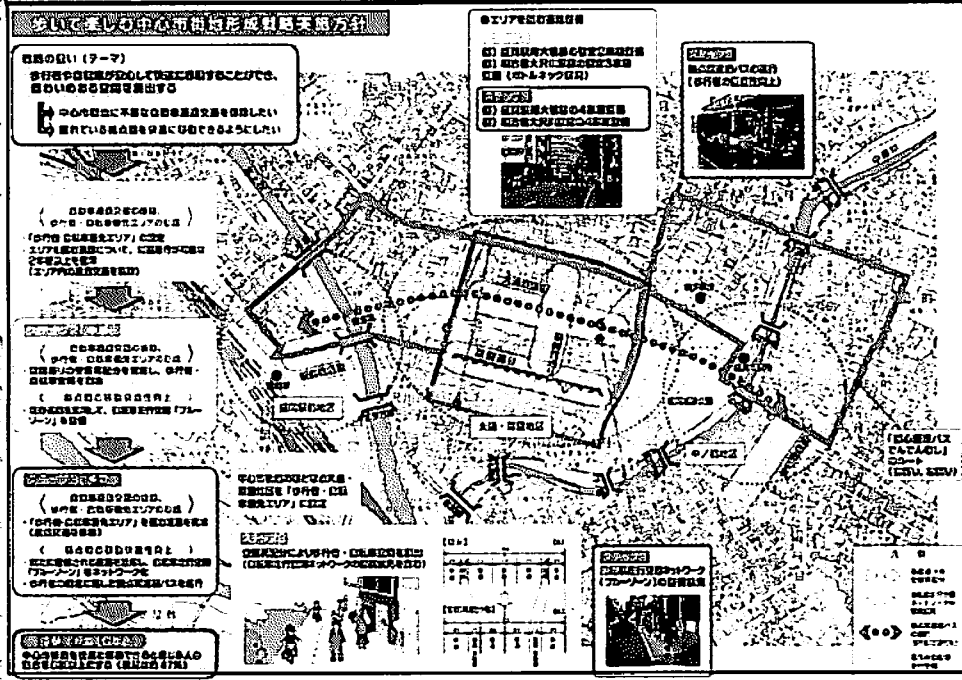


都心循環バス「でんでんむし」

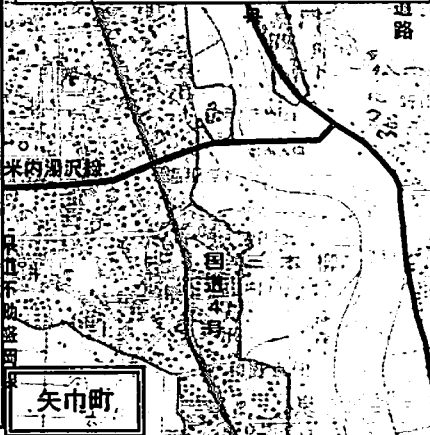


## 中心市街地に係る歩行者・自転車の回遊性向上

## もりおか交通戦略 歩いて楽しむ中心市街地形成戦略実施実施方針



番号	路線名等
①	梨木町上米内線
②	盛岡駅南大通線(大沢川原地区)
③	明治橋大沢川原線(大通り)



矢巾町

## 盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進 について

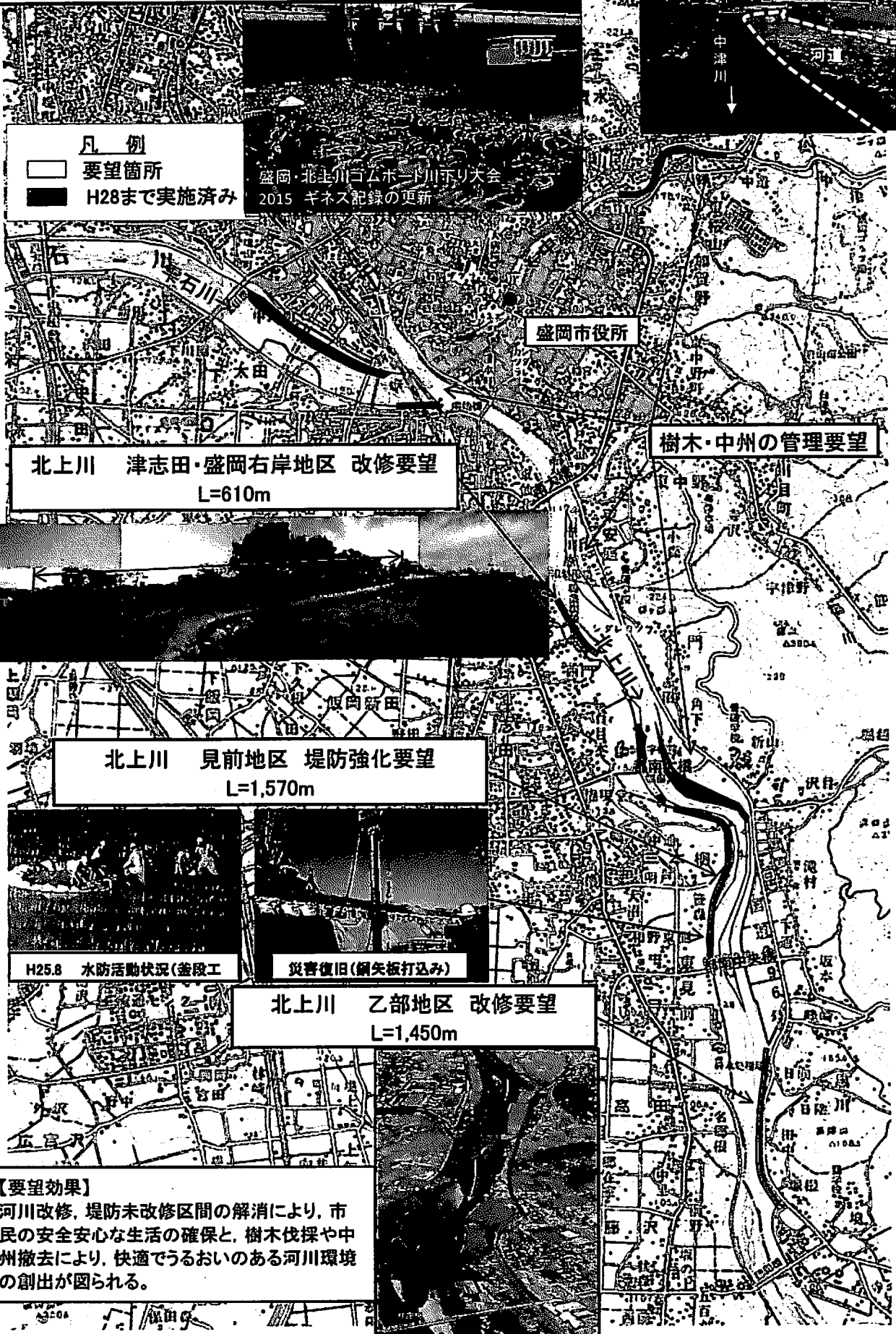
盛岡市内の直轄管理河川（北上川、中津川及び雫石川）は、着実に整備が進められ、その中でも北上川と中津川につきましては、平成19年9月に発生した洪水に伴う災害復旧費による迅速な対応や、平成25年8月に発生した大雨・洪水及び同年9月に発生した台風の際には四十四田ダムと御所ダムの連携により市街地へのはん濫を防いでいただいた対応のほか、新たにXRAIN（XバンドMPレーダ）を設置していただき深く感謝いたしております。また、市街地に配慮した快適でうるおいのある河川環境の創出など、積極的に取り組んでいただき重ねて感謝いたします。

しかしながら、北上川、中津川及び雫石川の3河川は、一部未改修の状態にあるため、降雨期の増水による河岸決壊や無堤箇所<sup>み</sup>の浸水が懸念されるほか、平成25年8月9日には、時間最大101mmの観測史上最大の大雨洪水により、北上川「見前地区」<sup>まへ</sup>において漏水が発生し、流域市民に大きな不安を与えております。

つきましては、国土強靱化基本法に基づく「大規模災害の未然防止、発生時の被害拡大の防止」のため、治水事業費の確保及び河川改修事業の促進、また、平成14年7月及び平成19年9月の洪水により浸水被害が生じた、「津志田・盛岡右岸地区」及び「乙部地区」<sup>おとべ</sup>の未改修箇所<sup>み</sup>の早期着手に加え、「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく堤防のハード対策の促進について要望いたします。

また、北上川及び中津川の河川敷は、市民のレクリエーションの場としても広く活用されておりますので、引き続き、河川における河道内樹木群の伐採や中洲の撤去など、自然との共生及び環境との調和に配慮した適切な管理について要望いたします。

# 直轄管理河川北上川水系 治水事業要望箇所図



凡 例  
 □ 要望箇所  
 ■ H28まで実施済み

盛岡・北上川ゴムホード川下り大会  
 2015 ギネス記録の更新

北上川 津志田・盛岡右岸地区 改修要望  
 L=610m

樹木・中州の管理要望

北上川 見前地区 堤防強化要望  
 L=1,570m



H25.8 水防活動状況(釜段工)



災害復旧(鋼矢板打込み)

北上川 乙部地区 改修要望  
 L=1,450m

【要望効果】  
 河川改修、堤防未改修区間の解消により、市民の安全安心な生活の確保と、樹木伐採や中州撤去により、快適でうるおいのある河川環境の創出が図られる。



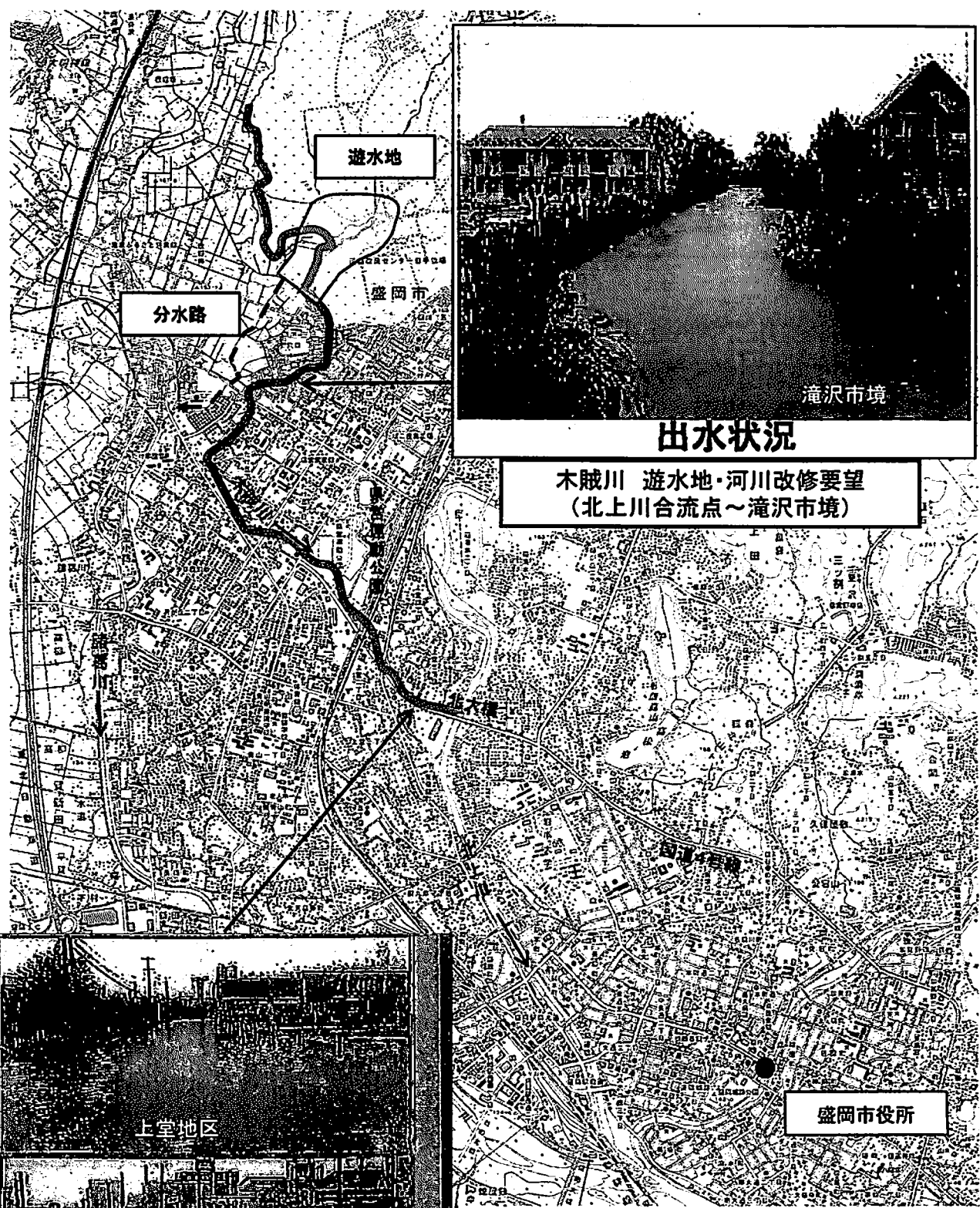
## 岩手県管理河川改修事業の促進について

盛岡市内を流れる岩手県管理河川のうち、一級河川北上川水系木賊川<sup>きたかみがわ とくきがわ</sup>では、平成14年7月の台風により115戸の床上・床下浸水被害、平成19年9月の大雨では避難勧告の発令、また、一級河川北上川及び一級河川松川<sup>まつかわ</sup>においては、平成25年9月に発生した台風により、86戸の床上・床下浸水をはじめ道路や農地への冠水、河川護岸の崩壊など甚大な被害が生じているなど、住民に大きな不安を与えております。

また、被害にあった玉山<sup>たまやま</sup>地域においては、早期の抜本的河川改修が求められております。

つきましては、岩手県により進められております、この3河川の改修事業により、災害による被害の軽減と市民の安全安心な生活が確保されますよう、財源確保について要望いたします。

# 岩手県管理河川改修事業



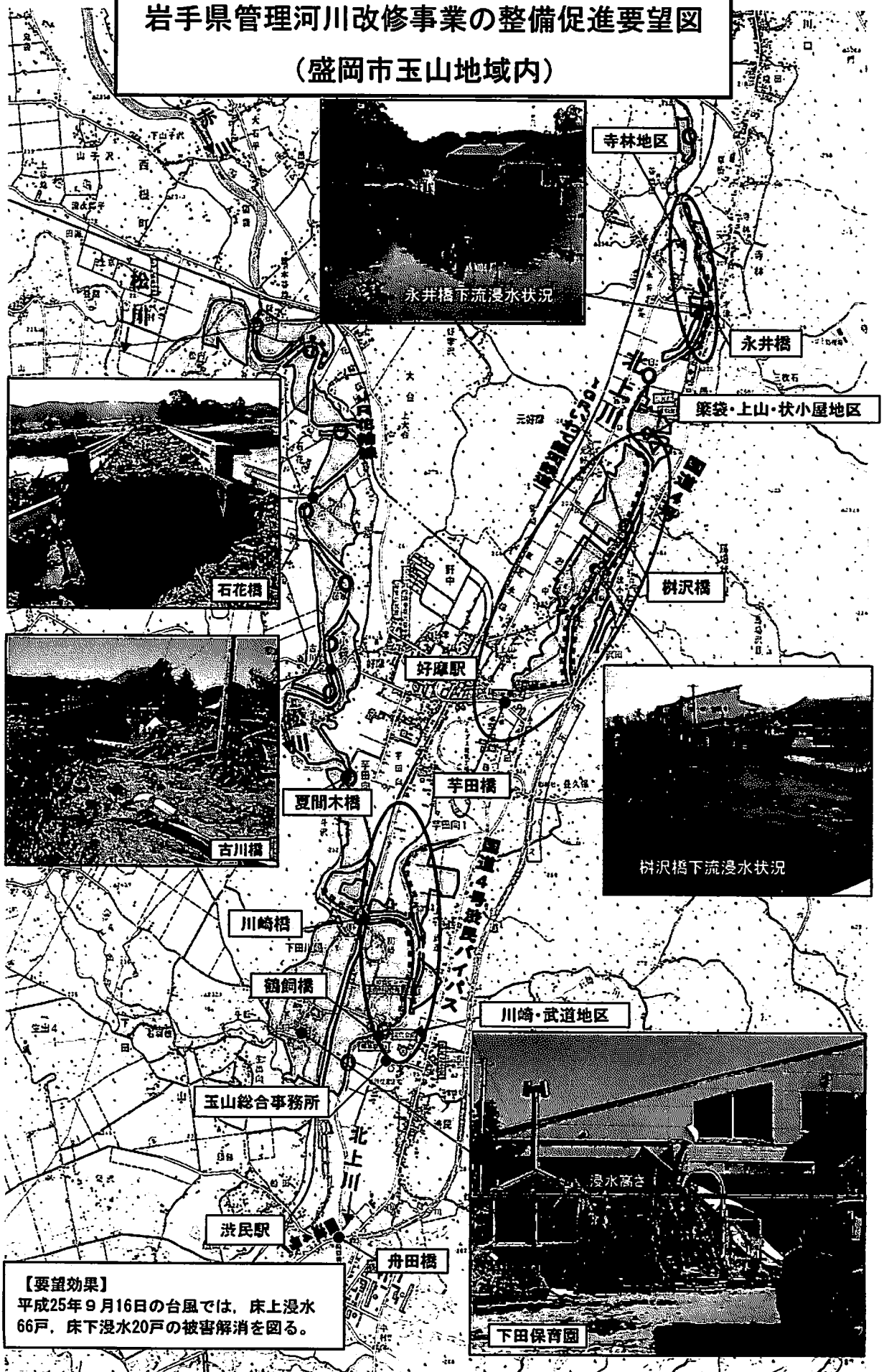
**出水状況**  
木賊川 遊水地・河川改修要望  
(北上川合流点～滝沢市境)



**【要望効果】**  
H14. 7月の台風被害において発生した、床上浸水16戸、床下浸水99戸の被害解消を図る。

# 岩手県管理河川改修事業の整備促進要望図

(盛岡市玉山地域内)



**【要望効果】**  
 平成25年9月16日の台風では、床上浸水66戸、床下浸水20戸の被害解消を図る。

大雨洪水、台風による浸水範囲 ○ H25.9災害対応箇所

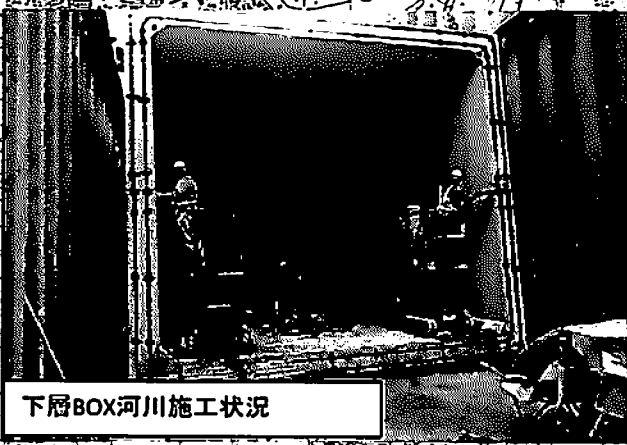
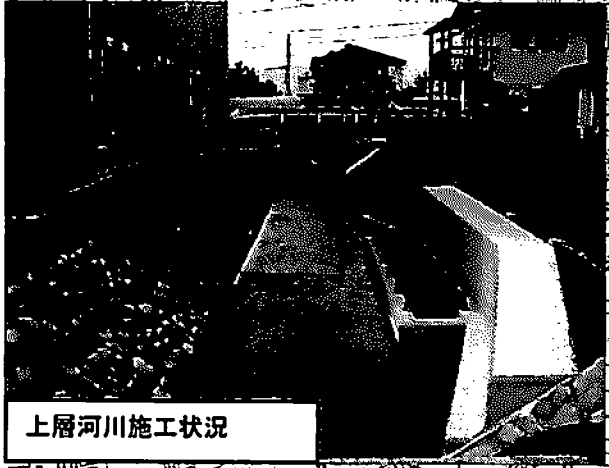
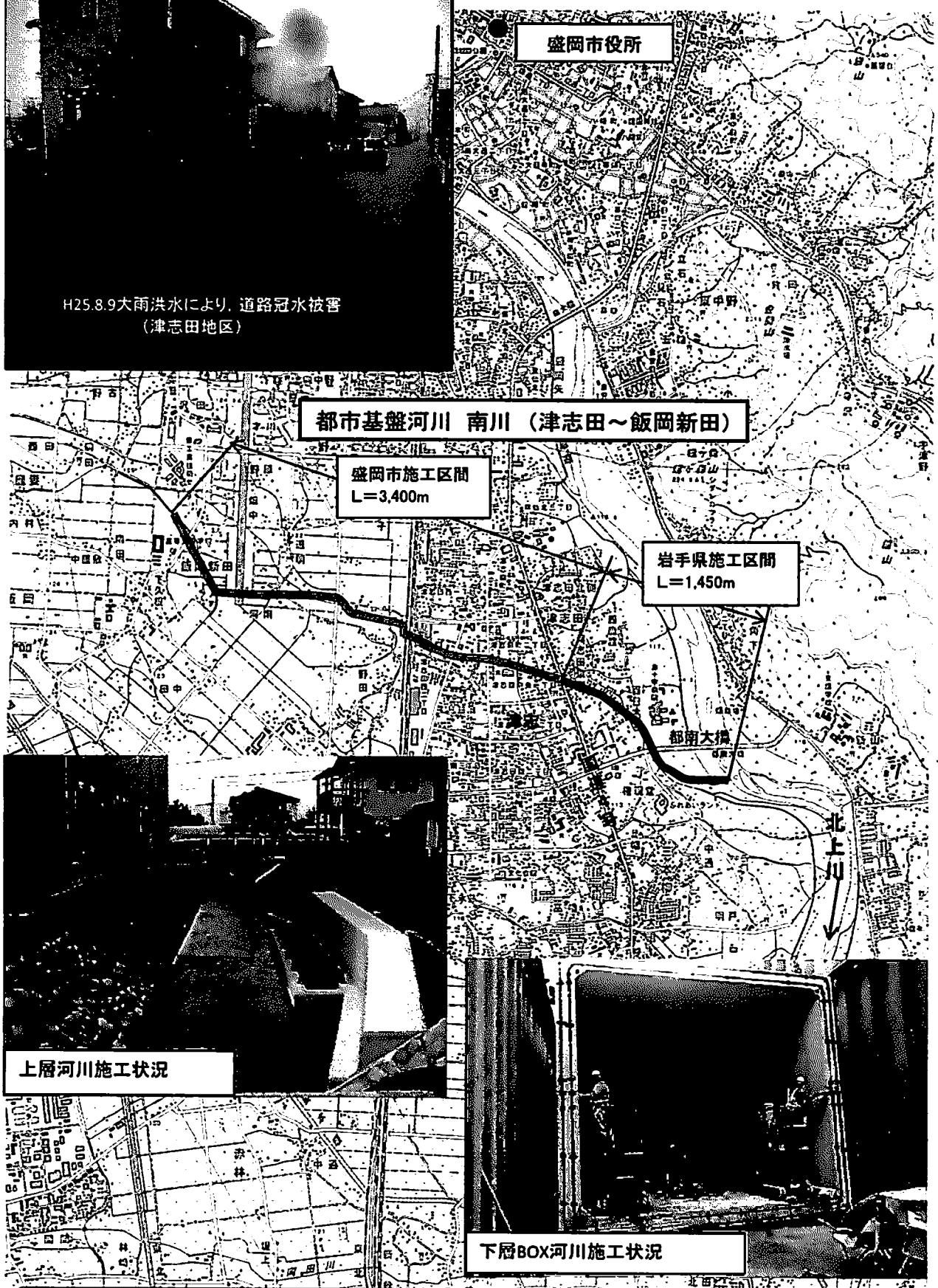
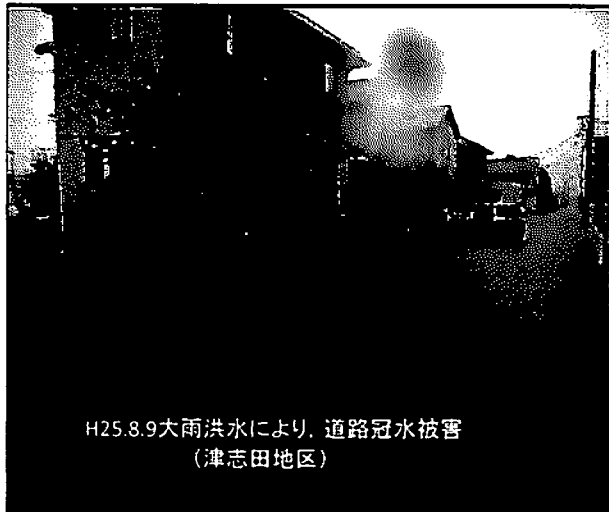
## 都市基盤河川改修事業の推進について

盛岡市内を貫流する一級河川北上川水系南川<sup>みなみかわ</sup>は、毎年、降雨期には洪水による浸水被害が懸念されており、沿川住民の不安を解消するため、早期の河川改修が強く要望されております。

本河川は、盛岡南新都市土地区画整理事業の完工に伴い、雨水の流出量が増加し、整備が急務となっております。また、道明地区<sup>どうみょう</sup>土地区画整備事業及び同地区に隣接して実施されている生活環境整備事業においては、10年以内での完成を目指し整備が進められており、市民の安全と安心のために、本河川の整備と一体で取り組む必要があります。

つきましては、都市基盤河川改修事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

# 都市基盤河川改修事業



**【要望効果】**  
河川改修により、市民の安全安心な生活の確保と快適でうるおいのある環境の創出が図られる。

## 一級河川北上川水系<sup>やながわ</sup>築川ダム建設事業の促進について

一級河川北上川水系のダム事業につきましては、着実に進展しているところであり、深く感謝いたしております。

一級河川築川流域の洪水氾濫危険区域には、約 6,300 人が生活しており、平成 14 年 7 月の台風 6 号の洪水では堤防の一部が崩落するなど、浸水被害が懸念され、住民に大きな不安を与えております。

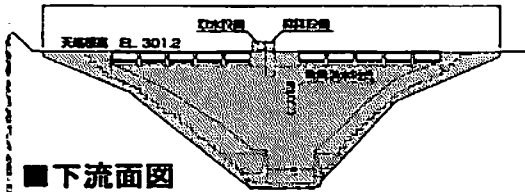
近年、全国的に集中豪雨や局所的な大雨が増大するなか、平成 25 年 8 月 9 日に発生した低気圧による大規模な出水では、御所<sup>ごしょ</sup>ダム及び四十四<sup>しじゅうしだ</sup>田ダムにおいて洪水調節等の連携により河川の水位低減を図り、洪水被害の防止に大きな役割を果たしました。

築川ダムには市民の安全安心な生活を確保するための洪水防御の役割のほか、水道用水の確保や河川環境の保全、水力発電による二酸化炭素の軽減など多くの役割を担っていることから、早期完成が期待されております。

つきましては、岩手県が施行する築川ダム建設事業の促進が図られますよう御配慮いただきたく要望いたします。

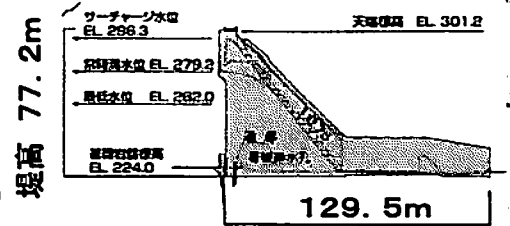
# 築川ダム建設事業

堤頂長 249.0m



■下流面図

■断面図



(堤体積 212,900m<sup>3</sup>)

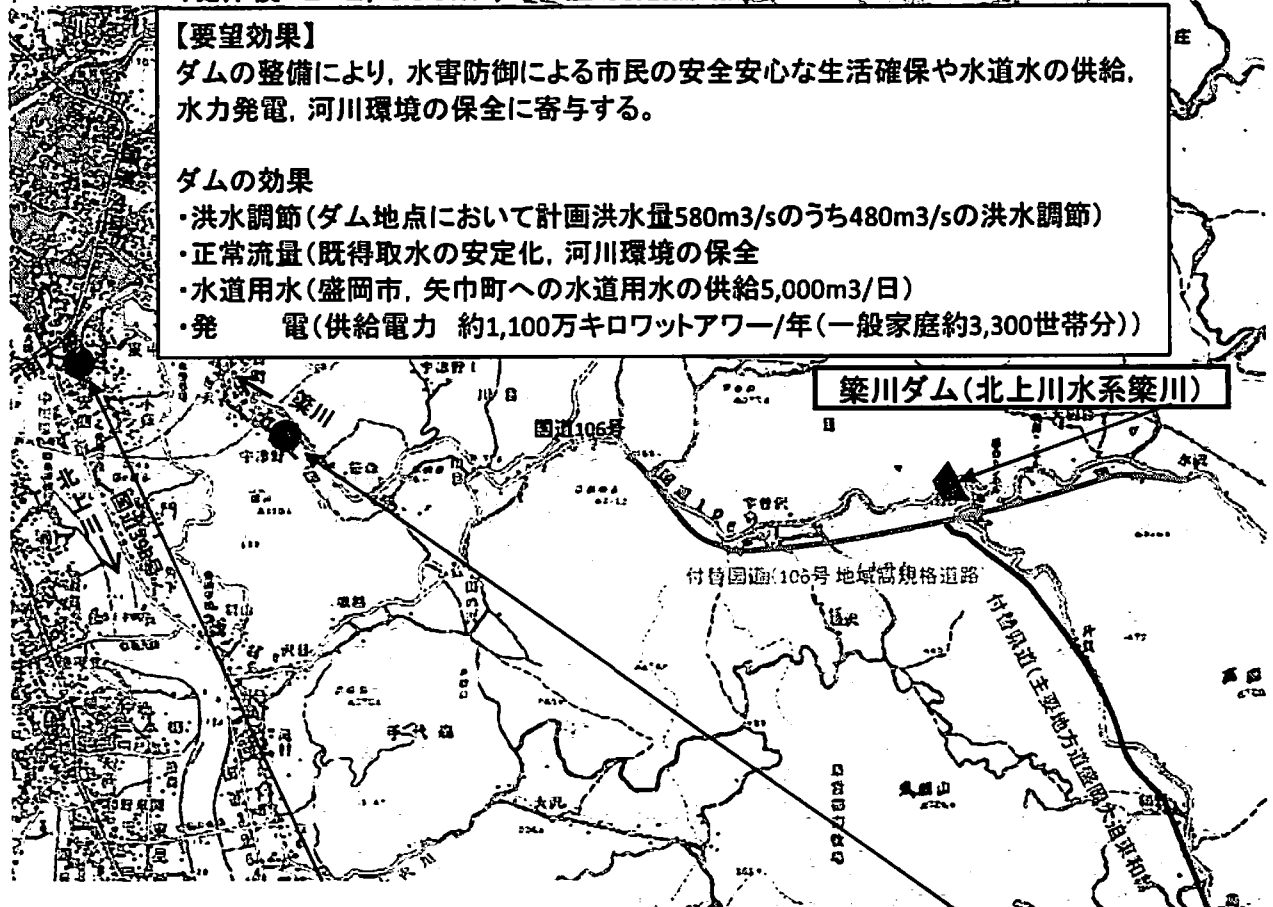


## 【要望効果】

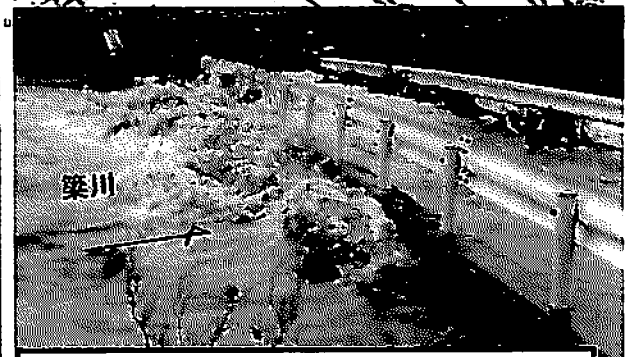
ダムの整備により、水害防御による市民の安全安心な生活確保や水道水の供給、水力発電、河川環境の保全に寄与する。

## ダムの効果

- ・洪水調節(ダム地点において計画洪水量580m<sup>3</sup>/sのうち480m<sup>3</sup>/sの洪水調節)
- ・正常流量(既得取水の安定化、河川環境の保全)
- ・水道用水(盛岡市、矢巾町への水道用水の供給5,000m<sup>3</sup>/日)
- ・発電(供給電力 約1,100万キロワットアワー/年(一般家庭約3,300世帯分))



H14.7洪水による堤防崩落現場(築川橋付近)



H2.9洪水による出水状況(宇津野橋)

## 急傾斜地崩壊対策事業の促進について

土砂災害から地域住民の生命と財産を守り、安全な生活環境を確保するために実施されております急傾斜地崩壊対策事業につきまして、着実に事業を推進いただき深く感謝いたしております。

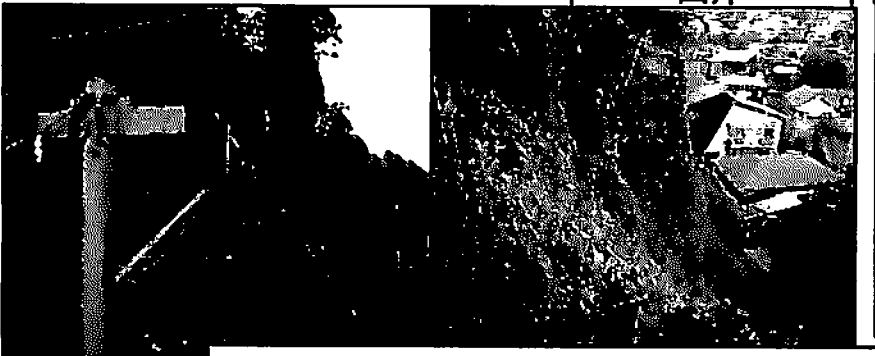
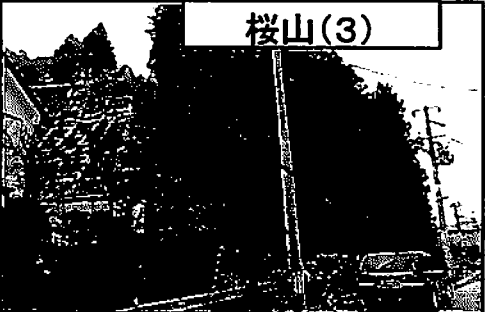
しかしながら、平成 23 年 3 月に発生した東北地方太平洋沖地震による影響や、平成 25 年 8 月に発生した大雨・洪水による<sup>つなぎ</sup> 繋地区の急傾斜地の一部崩落、平成 26 年 8 月の広島市の土砂災害、平成 28 年 8 月の本県沿岸部への台風被害など、地震や大雨による土砂災害が懸念され、地域住民に不安を与えております。

本市においては、ソフト対策として土砂災害から市民の生命を守ることを目的に、土砂災害ハザードマップを作成し、関係地域の住民へ配布を行ってきておりますが、市民の生活を守るためにはハード対策が必要不可欠となっております。

つきましては、急傾斜地崩壊対策事業を推進するため、財源を確保し、岩手県事業の促進が図られますよう御配慮いただきたく要望いたします。

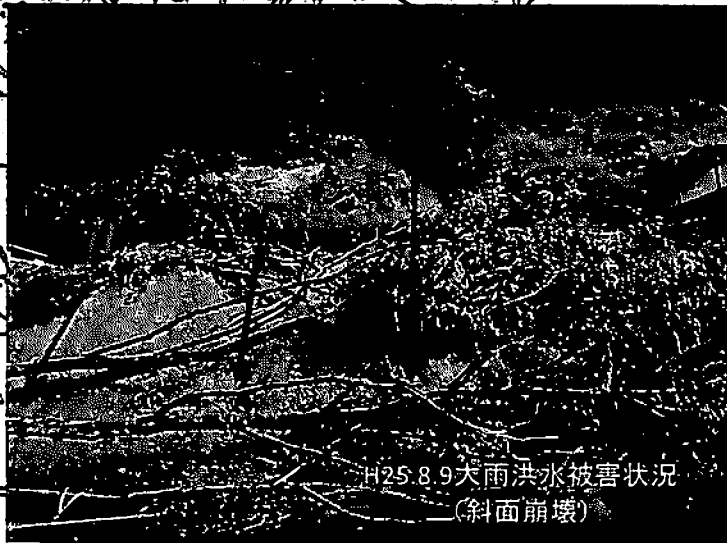
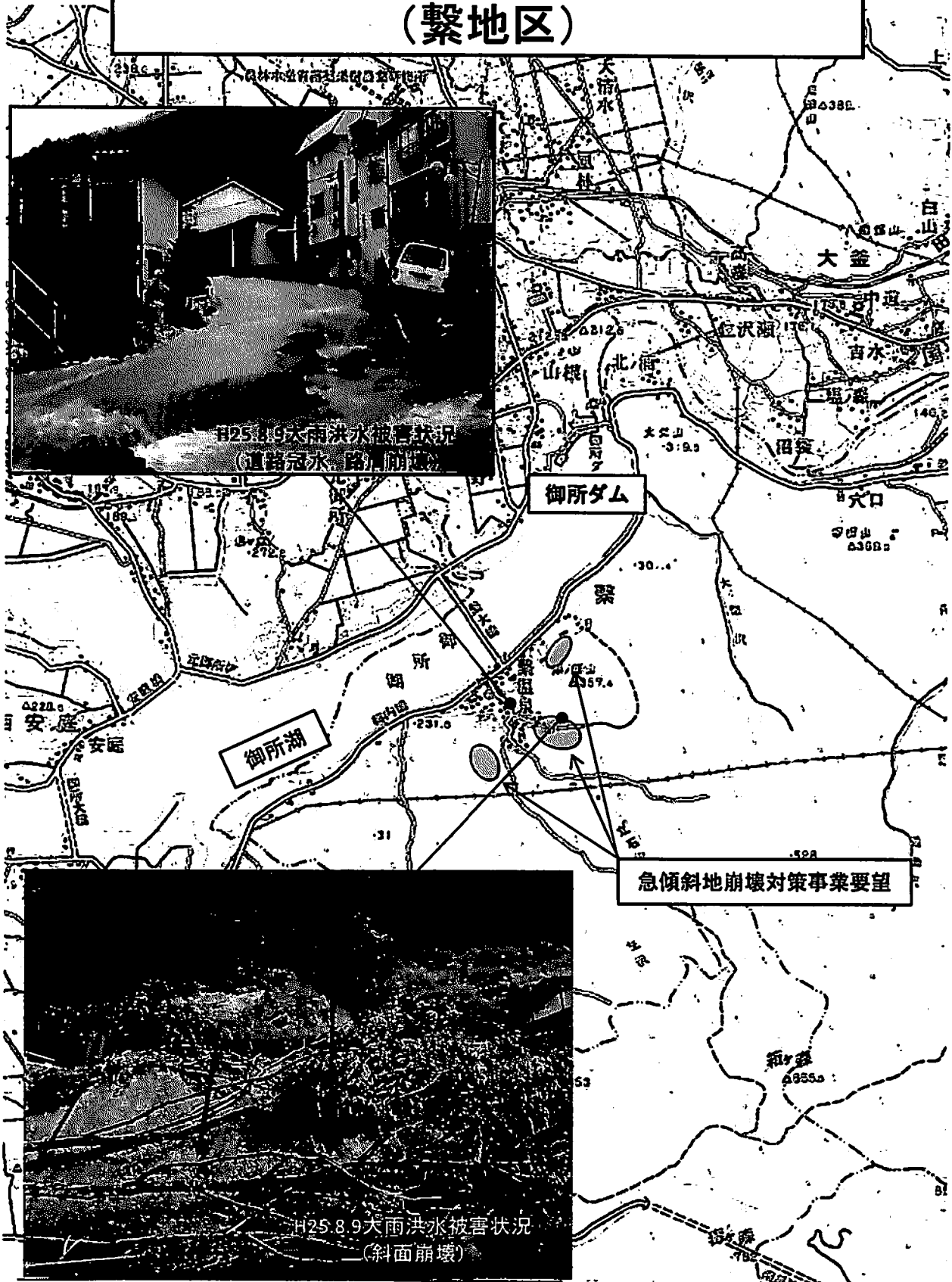


# 急傾斜地崩壊対策事業要望箇所図



**【要望効果】**  
土砂災害から市民の生命を守り、安全安心な生活の確保に寄与する。

# 急傾斜地崩壊対策事業要望箇所図 (繫地区)



## 盛岡市土地区画整理事業の推進について

土地区画整理事業は、盛岡市のまちづくりに大きな役割を果たしてきたものの、少子高齢化・人口減少社会の進展や事業費確保、保留地等の土地処分価格の下落、事業の長期化などにより狭隘道路や上下水道未整備区域の解消といった生活環境の改善が進まない状況にあることから、事業計画の見直しが必要となりました。

このような状況を改善するため、平成 24 年度から関係権利者との意見交換会を重ね、また、<sup>どうみょう</sup>道明地区及び<sup>となんちゅうおうだいさん</sup>都南中央第三地区では事業区域の縮小を含む大幅な見直しを平成 27 年度に実施しており、<sup>おおた</sup>太田地区では平成 28 年度から事業費や事業期間の見直しの手続きを進めております。

しかしながら、土地区画整理事業については、事業区域の縮小等により事業費を削減してもなお多額の事業費が見込まれることから、財源を確保して一層の事業推進を図る必要があります。

また、土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域においては、道路整備を中心として土地区画整理事業と合わせた地区全体の生活環境改善の早期効果発現を行うべく、事業推進を図る必要があります。

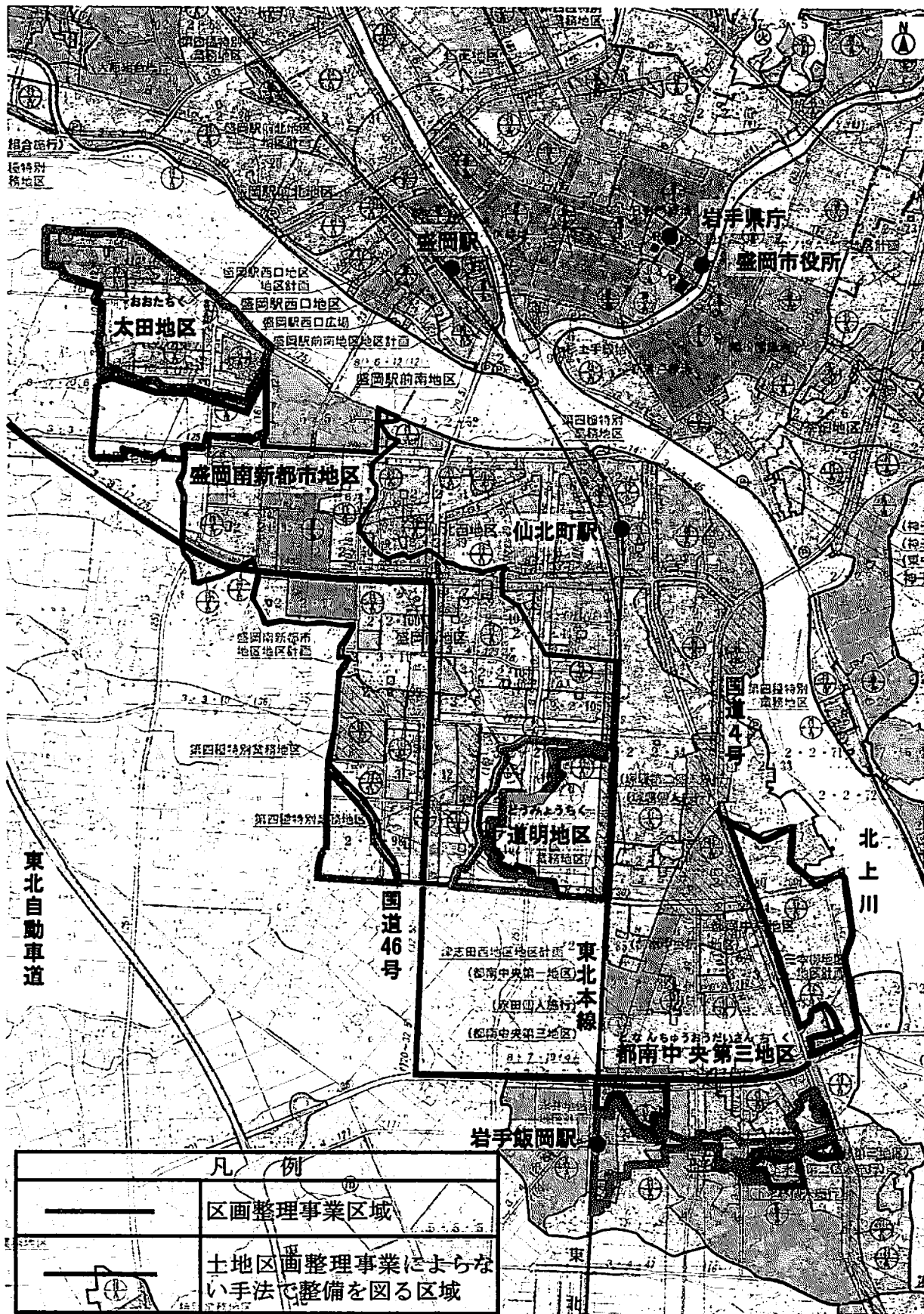
つきましては、盛岡市の土地区画整理事業の推進と土地区画整理事業によらない区域の生活環境改善推進について、御配慮いただきたく要望いたします。

地区名	太田	道明	都南中央第三
施行面積 (ha)	区画整理 77.2	区画整理 21.7 区画整理外 48.9 計 70.6	区画整理 26.5 区画整理外 17.5 計 44.0
事業期間	H5～H34 (清算H39) (H5～H36 (清算H41))	H15～H35 (清算H40)	H12～H34 (清算H39)
総事業費 (百万円)	区画整理 27,003 (31,300)	区画整理 5,620 区画整理外 2,863 計 8,483	区画整理 8,140 区画整理外 363 計 8,503
今後の見通し	～H36 まで (7年)	～H35 まで (6年)	～H34 まで (5年)
残事業費 (百万円)	区画整理 6,383 (10,680)	区画整理 2,576 区画整理外 2,738 計 5,314	区画整理 2,614 区画整理外 317 計 2,931

※上表「区画整理外」は、「土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域」

※太田地区の総事業費( ), 事業期間( ), 残事業費( )は計画変更後の見込額

# 盛岡市 土地区画整理等事業 位置図



## 盛岡地区かわまちづくり事業の促進について

盛岡市内の直轄管理河川（北上川<sup>きたかみがわ</sup>、中津川<sup>なかつがわ</sup>及び雫石川<sup>しずくいしがわ</sup>）は、着実な整備が進められ、市街地に配慮した快適でうるおいのある水辺空間の創出など、積極的に取り組んでいただき深く感謝しております。

その中でも北上川や中津川におきましては、平成21年5月に盛岡地区が「かわまちづくり支援制度」として認定され、学識経験者や市民活動関係者などで構成された懇談会を開催しながら、水辺空間を活用した観光アクセスの整備、案内板の設置による利便性の向上など、市民や観光客の利用向上を図る内容が盛り込まれた「盛岡地区かわまちづくり計画」が平成22年3月に策定されたところです。

また、平成25年11月に同計画の変更により、河川利用上の阻害解消を図るための河道整正等の整備を行うこととされ、さらに平成28年度においては、北上川における舟運による新たな賑わいの創出が計画に盛り込まれ、整備期間も平成32年度まで延長されております。

本市では、この事業により中心市街地を流れる北上川、中津川の河川空間が観光アクセスや水辺の賑わいの創出の場として更なる活用が図られ、市民協働活動の推進や中心市街地の活性化にも大きく寄与するものと考えており、今後においても、より魅力的な水辺空間の創出に向けた事業の継続を期待しております。

つきましては、引き続き国と盛岡市が協働で行う、「盛岡地区かわまちづくり」事業の促進について御配慮いただきたく要望いたします。

# 「盛岡地区かわまちづくり」 (直轄・盛岡市)

いわてけん もりおかし  
 市町村名：岩手県 盛岡市  
 きたかみがわ きたかみがわ なかつがわ  
 対象河川：北上川水系 北上川・中津川

## 1. 概要

盛岡市では、「盛岡市総合計画」等において、観光の重要な資源と位置づけられている北上川・中津川と城下町としての歴史性を活かしたまちづくりが一体的に進められており、これまでに水辺プラザなど親水空間の整備が行われ、市街地内の水辺拠点として親しまれてきた。

本計画では、国土交通省が河川管理用通路・階段、親水護岸の整備や河道の整正等を行うとともに、盛岡市が中津川に隣接する盛岡城跡公園周辺や北上川沿いの歴史的街なみ整備等を行うことにより、良好な水辺空間を創出し、地域の活性化を推進する。

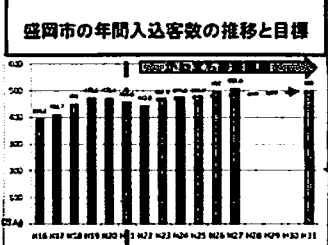
## 2. 整備内容

- ・管理用通路
- ・避難誘導看板
- ・管理用階段
- ・河道整正
- ・低水護岸
- ・管理用坂路
- ・高水護岸
- ・親水護岸

事業実施期間：H20～H37  
 (整備期間：H21～H32)

【事業工程】

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
事業主体：盛岡市 (拠点施設、周辺整備)		事業実施																	
事業主体：国土交通省 (親水空間、散策路等)			設計	整備															
														モニタリング					



## 盛岡市公共下水道事業の推進について

北上川上流に位置している盛岡市は、流域市町村が北上川水系を上水道源としているため、水質保全については特に重要な役割を担っており、地域における生活環境の改善や浸水区域の解消を推進するためにも、公共下水道の整備が急務となっております。

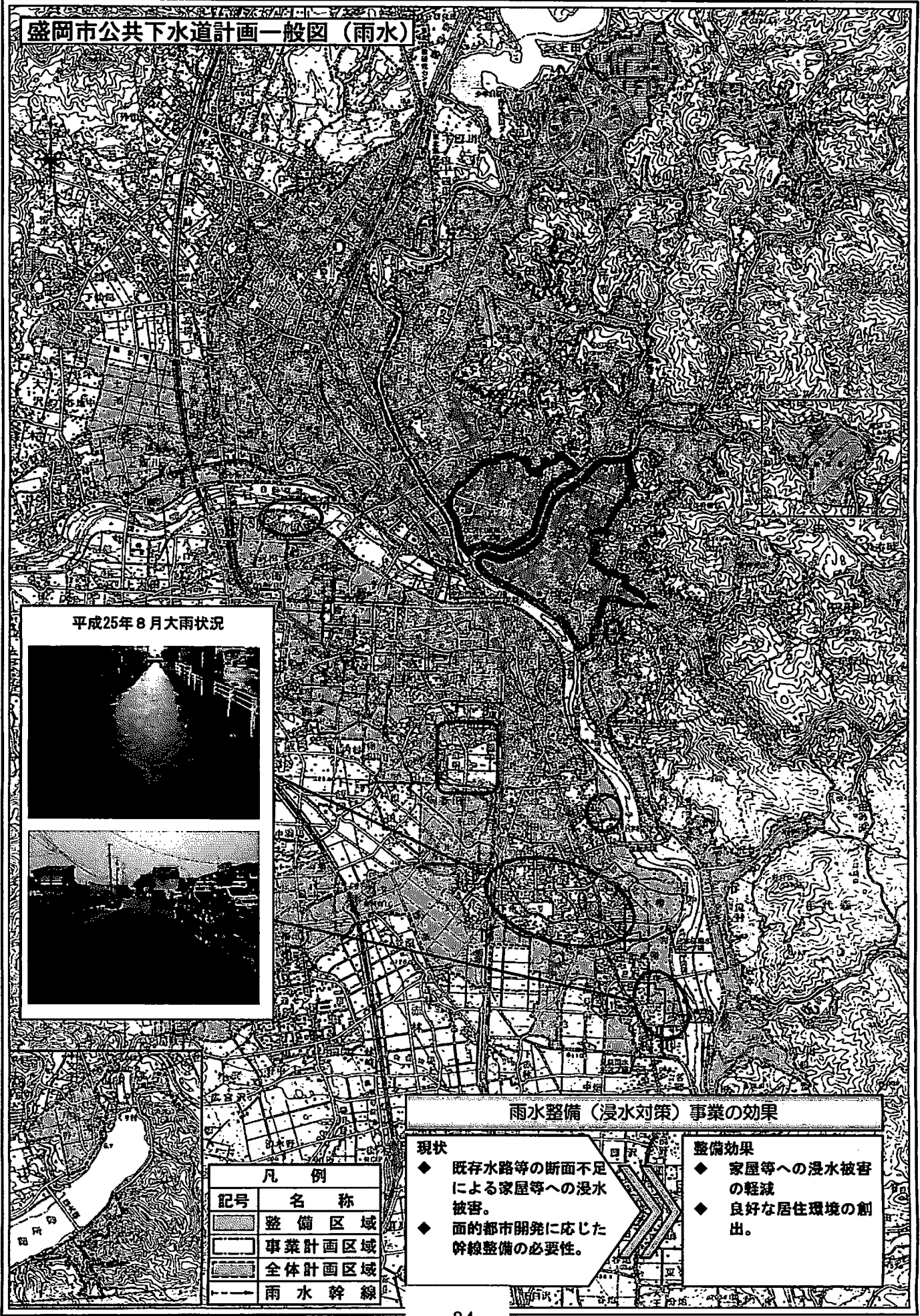
本市では、平成 27 年度に、より効率的な汚水処理の観点から、公共下水道、農業集落排水事業及び浄化槽事業の 3 事業の適切な役割分担を行いながら、持続可能な汚水処理を推進するため、これらの 3 事業を一元化した汚水処理基本計画を策定しました。これにより、浄化槽設置整備補助金の拡充などの施策を組み合わせ、汚水処理の普及促進を図る計画としているところであります。また、平成 28 年度には、汚水処理施設概成アクションプランを策定し、土地区画整理事業の完了が見込まれる平成 37 年度を概成時期として、汚水処理人口普及率 98.2%の計画としたところであります。

本市の平成 28 年度末における汚水処理人口普及率は 95.1%となっておりますが、そのうち公共下水道普及率は 88.5%で、公共下水道整備未整備区域の残事業費が約 180 億円と見込まれております。公共下水道未整備地区からの早期整備の要望も多く、整備を継続して推進させる進める必要があります。しかしながら、地方財政は一段と厳しい状況で、さらに、耐用年数を超過している下水道施設の更新の課題も抱えており、耐震化も含めた改築更新の必要性が高まっている状況にあります。

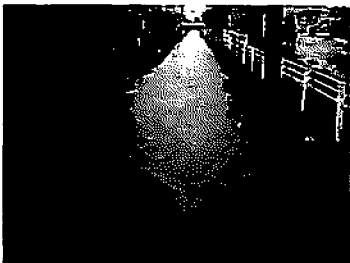
また、雨水施設の整備については、災害の再発防止や甚大な災害の未然防止の観点から幹線整備及び面整備を順次進めているところで、整備率は 61.5%となっております。浸水域解消の事業費が不足する一方で、施設の長寿命化計画や耐震性能向上のための投資についても、その必要性が急速に高まっている状況にあります。

つきましては、引き続き盛岡市公共下水道事業を推進するため、事業費の確保について要望いたします。

# 盛岡市公共下水道計画一般図（雨水）



平成25年8月大雨状況



## 雨水整備（浸水対策）事業の効果

### 現状

- ◆ 既存水路等の断面不足による家屋等への浸水被害。
- ◆ 面的都市開発に応じた幹線整備の必要性。

### 整備効果

- ◆ 家屋等への浸水被害の軽減
- ◆ 良好な居住環境の創出。

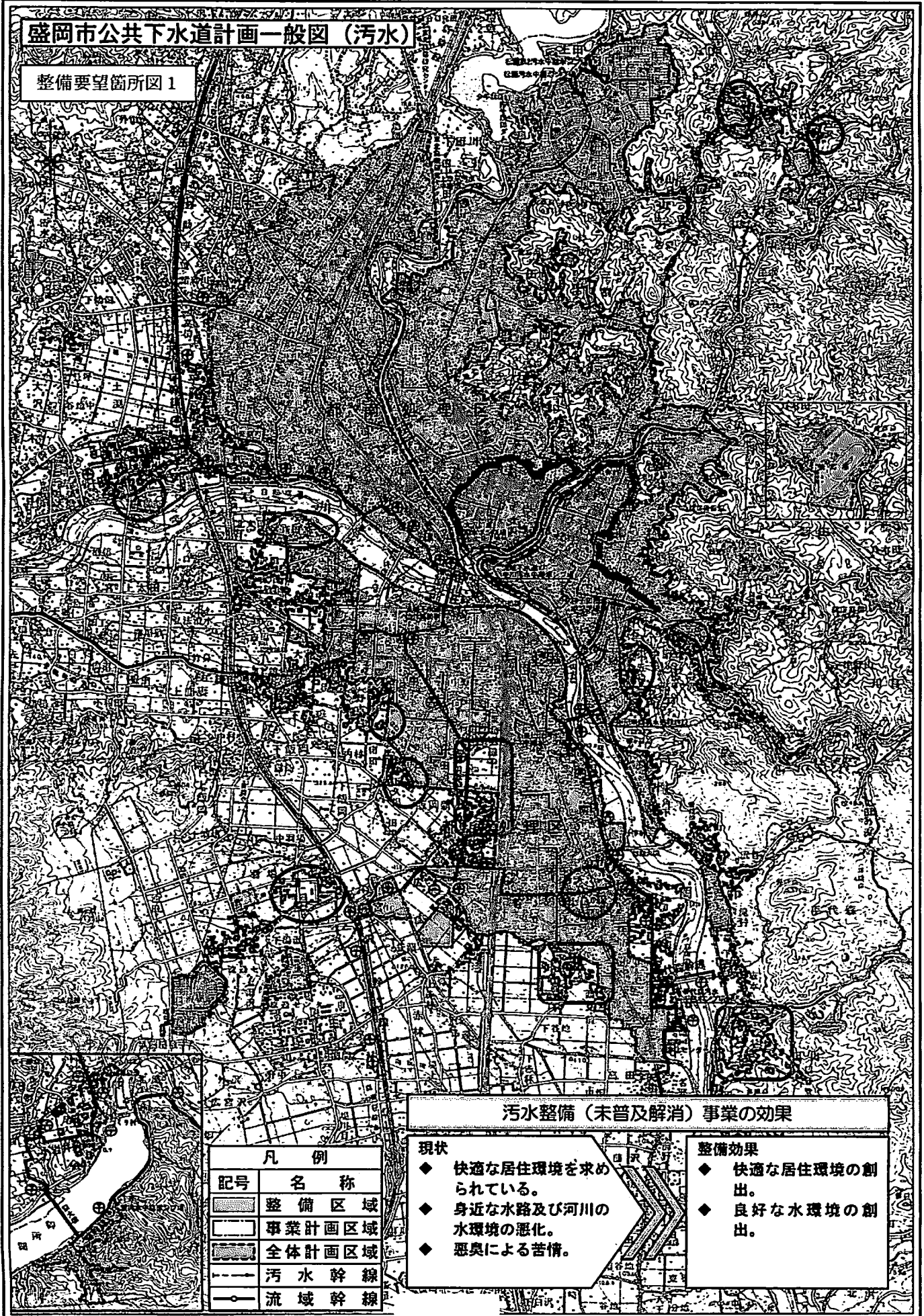
### 凡 例

記号	名 称
	整備区域
	事業計画区域
	全体計画区域
	雨水幹線



# 盛岡市公共下水道計画一般図(汚水)

整備要望箇所図1



## 汚水整備(未普及解消)事業の効果

### 現状

- ◆ 快適な居住環境を求められている。
- ◆ 身近な水路及び河川の水環境の悪化。
- ◆ 悪臭による苦情。

### 整備効果

- ◆ 快適な居住環境の創出。
- ◆ 良好な水環境の創出。

### 凡例

記号	名称
	整備区域
	事業計画区域
	全体計画区域
	汚水幹線
	流域幹線

# 盛岡市公共下水道計画一般図（污水）

## 整備要望箇所図2



盛岡市公共下水道計画一般図(地震対策・改築更新)

松園第二  
汚水中継ポンプ場  
築 29 年

松園  
汚水中継ポンプ場  
築 39 年

上赤平  
汚水中継ポンプ場  
築 27 年

蛇島  
汚水中継ポンプ場  
築 28 年

菜園、内丸分区

中川  
雨水ポンプ場  
築 30 年

大沢川原  
雨水ポンプ場  
築 62 年

神子田  
雨水ポンプ場  
築 54 年

中川原簡易水処理施設(管理棟)

下道  
雨水ポンプ場  
築 47 年

中川原  
雨水ポンプ場  
築 19 年

改築更新事業の効果

現状

- ◆ 合流区域の50年経過管渠の増加。
- ◆ ポンプ場の耐震化対策の未実施。
- ◆ 簡易水処理施設の受変電設備の適正化。

整備効果

- ◆ 下水道機能の安定的な確保。
- ◆ 下水道施設に対する信頼。

凡 例

記号	名 称
	整備区域
	事業計画区域
	全体計画区域
	汚水幹線
	流域幹線

## 循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進 について

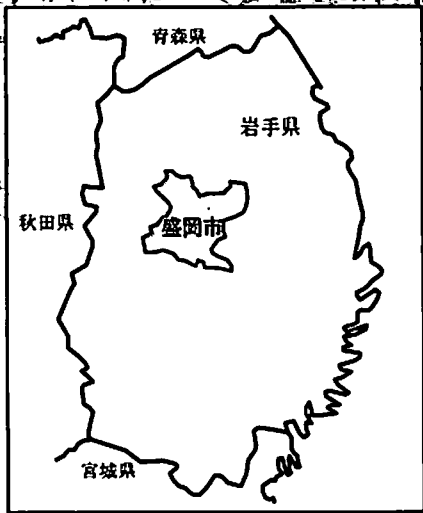
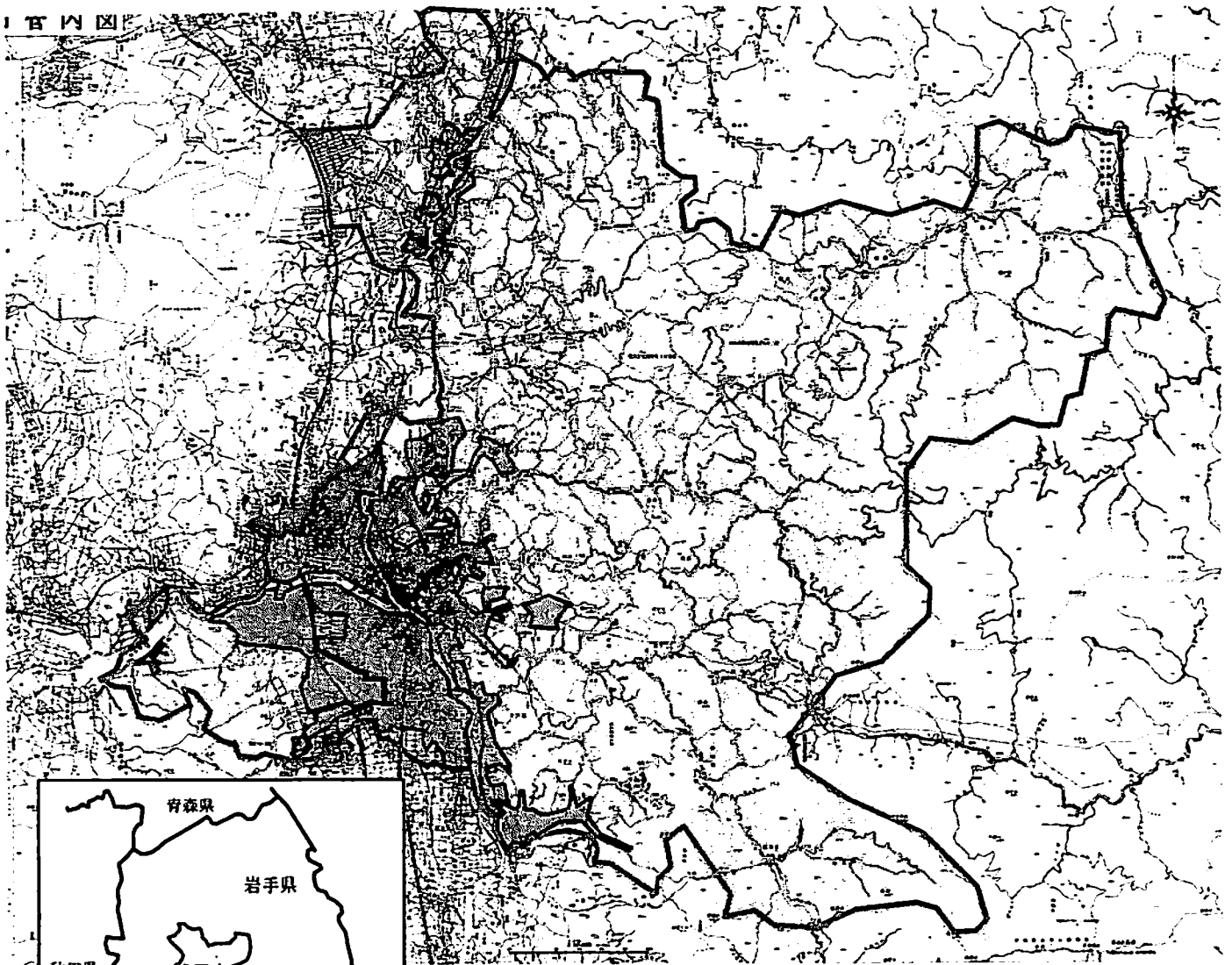
盛岡市は、健全で良好な水環境の創出を目指して、公共用水域の水質保全及び衛生的な生活環境の確保を図るため、「公共下水道」「農業集落排水」「浄化槽」の3事業により、汚水処理事業を推進しています。そのうち、公共下水道の事業計画区域及び農業集落排水の事業計画区域を除いた区域については、循環型社会形成推進交付金を利用し、浄化槽の整備を進めております。

また、近年の交付金制度への移行に伴う国費等の財源確保の困難性、人口減少等の社会経済情勢の変化、今後増大する汚水処理施設の改築・更新を踏まえ、より効率的に持続可能な汚水処理事業を推進するため、市では平成27年度に「盛岡市汚水処理基本計画」を策定いたしました。この計画においては、公共下水道の計画区域を縮小し、浄化槽による整備区域を拡大することとしています。

環境や衛生に対する市民意識は大きく高まってきており、浄化槽による早期の汚水処理の要望が増加している傾向にあり、さらに、毎年のように、多くの市民から浄化槽設置の要望が寄せられていますが、その要望に対して応えることができない状況が続いています。

つきましては、盛岡市浄化槽設置整備事業の一層の推進を図るため、浄化槽整備における循環型社会形成推進交付金の予算確保及び予算の一部留保がないよう要望いたします。

# 循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備区域図



凡 例	
	浄化槽設置整備事業区域(個人設置型)
	公共下水道事業区域
	農業集落排水事業区域

## 廃止した廃棄物焼却施設の解体撤去工事費に対する 交付金制度の拡充等について

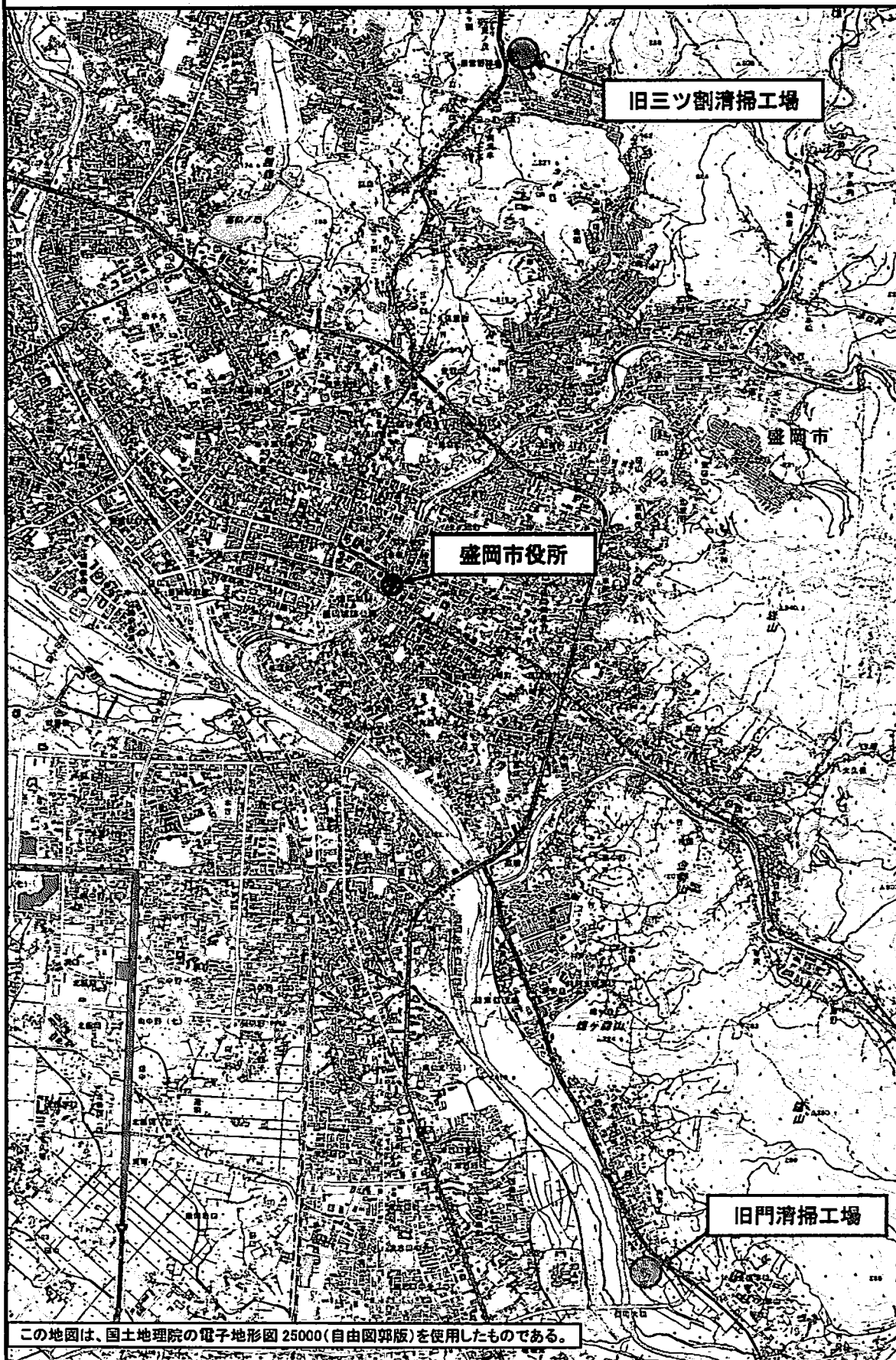
盛岡市では、廃止した2箇所の廃棄物焼却施設を抱えるほか、平成9年5月の(旧)厚生省通知「ごみ処理の広域化計画について」の方針のもとに策定された「岩手県ごみ処理広域化計画」(平成11年3月)に基づき、ごみ処理の広域化の実現に向けて取り組んでおりますが、今後ごみ処理広域化による集約化で廃止される廃棄物施設が想定されるため、施設の解体を行うにあたって財政的な負担の増大が懸念されます。

また、廃止した廃棄物焼却施設の解体撤去工事費については、循環型社会形成推進交付金において、廃焼却施設の跡地を利用して新たな廃棄物処理施設を整備する際に、当該廃焼却施設の解体事業に係る経費を含むことができるとされています。

しかしながら、本市においては、これら廃止した焼却施設の跡地への新たな廃棄物処理施設の整備計画が無いため、当該交付金の対象外となっており、広域化による集約化で廃止される廃棄物焼却施設の解体撤去工事も同様となります。

つきましては、廃止した焼却施設跡地に新たな廃棄物処理施設の整備計画が無い場合の解体撤去工事や広域化による集約に伴い廃止する廃棄物焼却施設の解体撤去工事について、交付金の対象とする制度の拡充、あるいは、新たな財政支援制度を創設するなどの措置を講じますよう要望いたします。

# 廃止した廃棄物焼却施設の解体撤去工事費に対する 交付金制度拡充等に係る位置図



もりおかじょうあと  
**国指定史跡盛岡城跡保存整備事業及び国指定史跡**  
しわじょうあと  
**志波城跡保存整備事業の推進について**

史跡盛岡城跡につきましては、都心の魅力を高め、中心市街地の活性化を図る重要な位置付けにあり、史跡整備によるまちづくりの推進が必要となっております。盛岡市のシンボルとして、市民はもとより本市を訪れる多くの方に親しまれており、その保存整備に鋭意努力しているところでありますが、史跡の主要部分である石垣に著しい損傷の箇所があり、抜本的な解体修復工事が必要とされ、昭和59年度から国庫補助事業として修理工事を進めてまいりました。

また、平成23年度には「史跡盛岡城跡保存管理計画」、平成24年度に「史跡盛岡城跡整備基本計画」、さらに平成28年度に「史跡盛岡城跡植栽管理基本計画」を策定しながら、石垣変位量の測定などの各種調査と研究を行ってまいりました。

この間、史跡の適正な保存管理及び活用事業が順調に推移しておりますことに対しまして深く感謝申し上げます。

今後も石垣修復事業を中心としながら、国史跡の近世城郭を理解し、歴史公園として親しむことができるような環境の整備を図ってまいります。

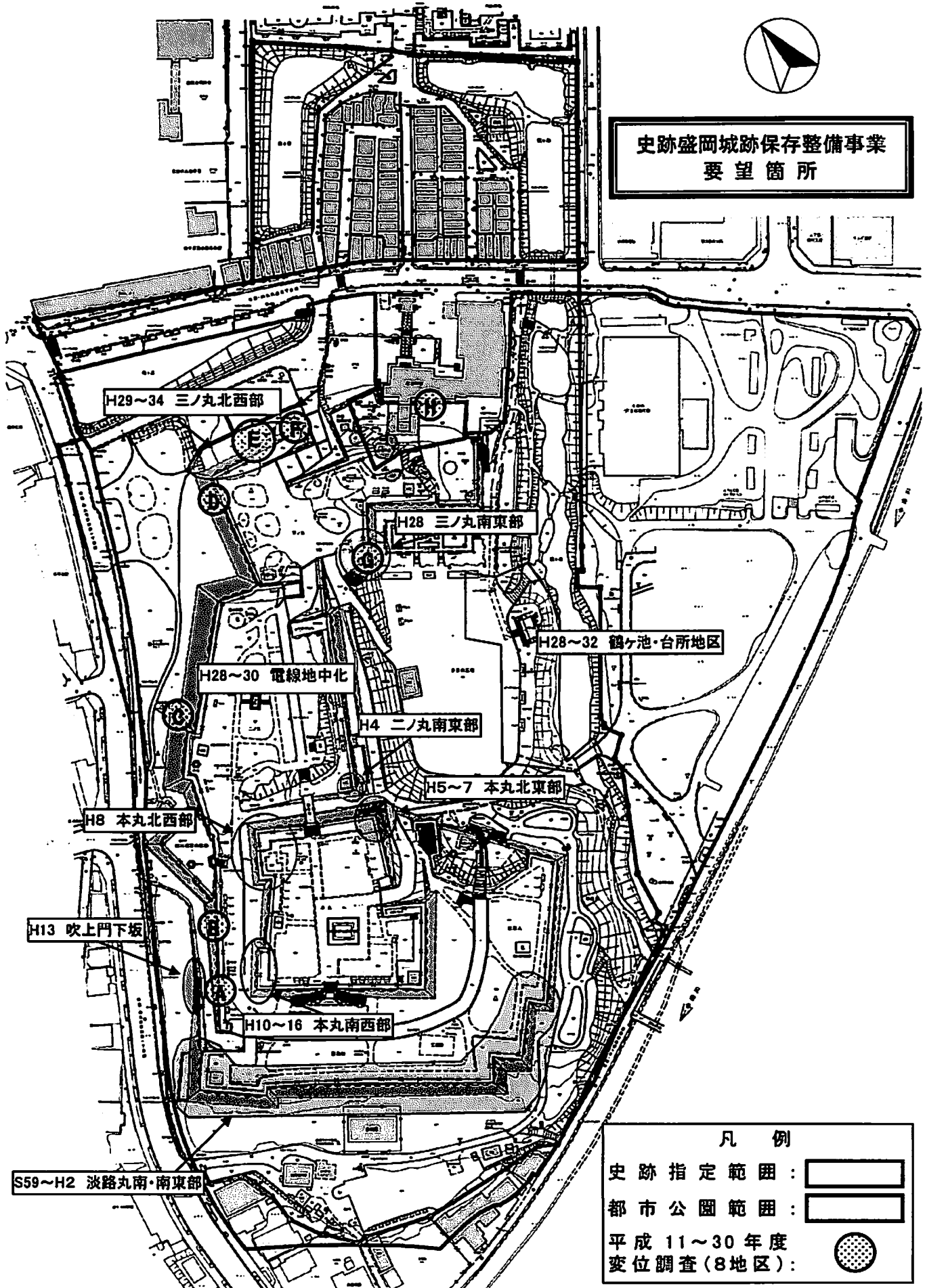
史跡志波城跡については、用地取得事業を継続し史跡の保護に今後とも努めてまいります。また、史跡の有効活用を図るために、平成9年から志波城古代公園として開放しておりますが、東北の古代史を語るうえで欠かせない拠点史跡として、更なる整備と積極的な活用の推進が期待されております。

つきましては、国指定史跡盛岡城跡及び国指定史跡志波城跡の保存整備事業推進に係る国庫補助金の交付について要望いたします。



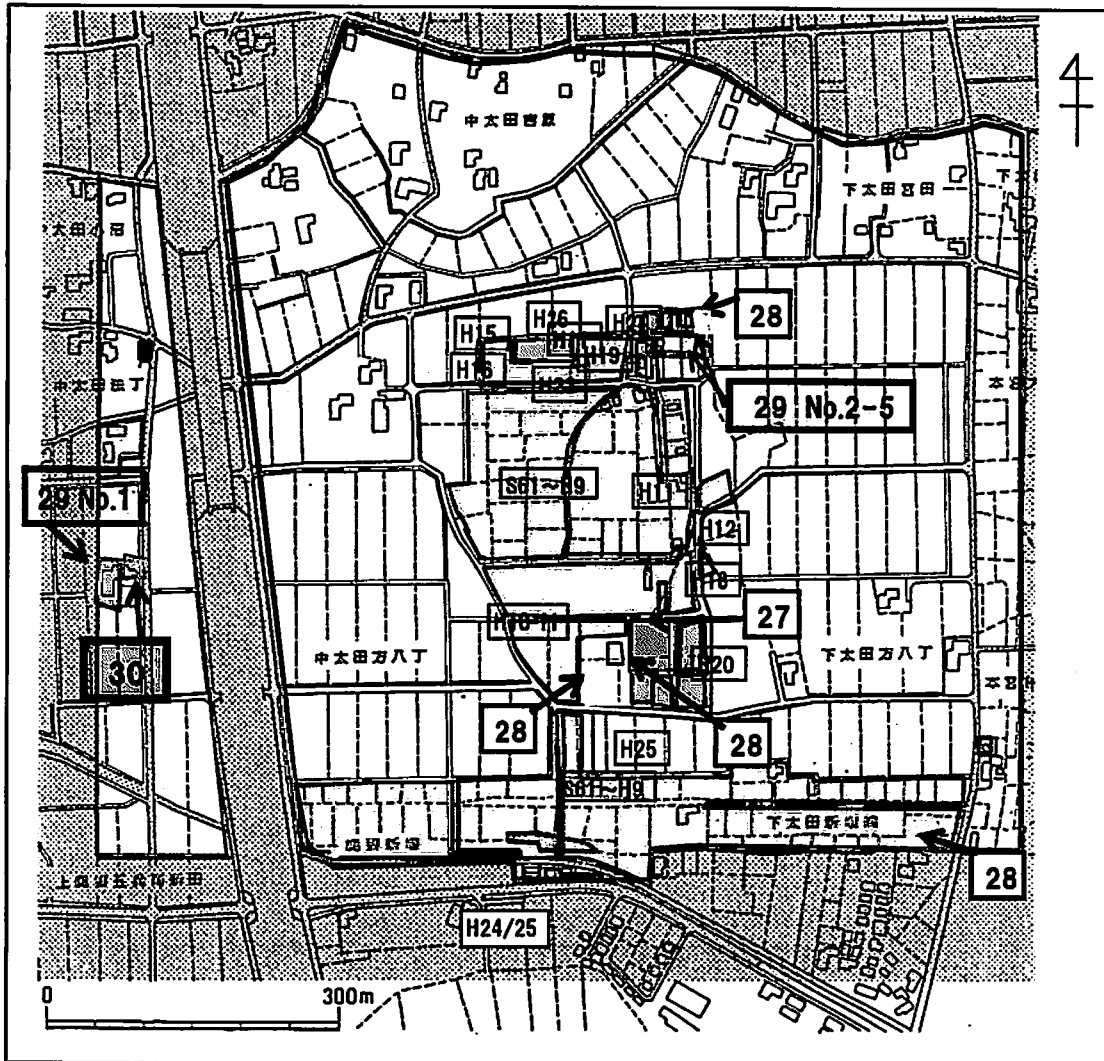


史跡盛岡城跡保存整備事業  
要望箇所



史跡盛岡城跡保存整備事業 事業計画図 (1:2,000)

史跡志波城跡用地取得事業  
要望箇所



年度	地番	地目
25	下太田方八丁108	畑
26	下太田方八丁16	畑
27	下太田方八丁107-1, 107-2	畑
28	下太田方八丁105, 68-11他	畑, 宅地
29	No.1 中太田方八丁28-3 (土地開発公社) No.2-5 下太田方八丁68-13, -14, -24, -30 (私道)	宅地 私道
30	中太田方八丁28-2, 28-4, 28-5, 37-3, 37-4 (土地開発公社)	宅地

【凡例】

前々年度以前	
前年度	
当該年度	
次年度以降の予定地	
公有化対象外地域	
史跡指定地境界	

図中の数字は買い上げ年度。  
西辺の次年度以降の予定地は、土地開発公社からの買戻しを予定しているもの。  
公有化対象外地域は、整備計画の範囲外としている範囲である。

## 防衛施設周辺整備事業（民生安定施設整備事業）による 防災行政無線の整備推進について

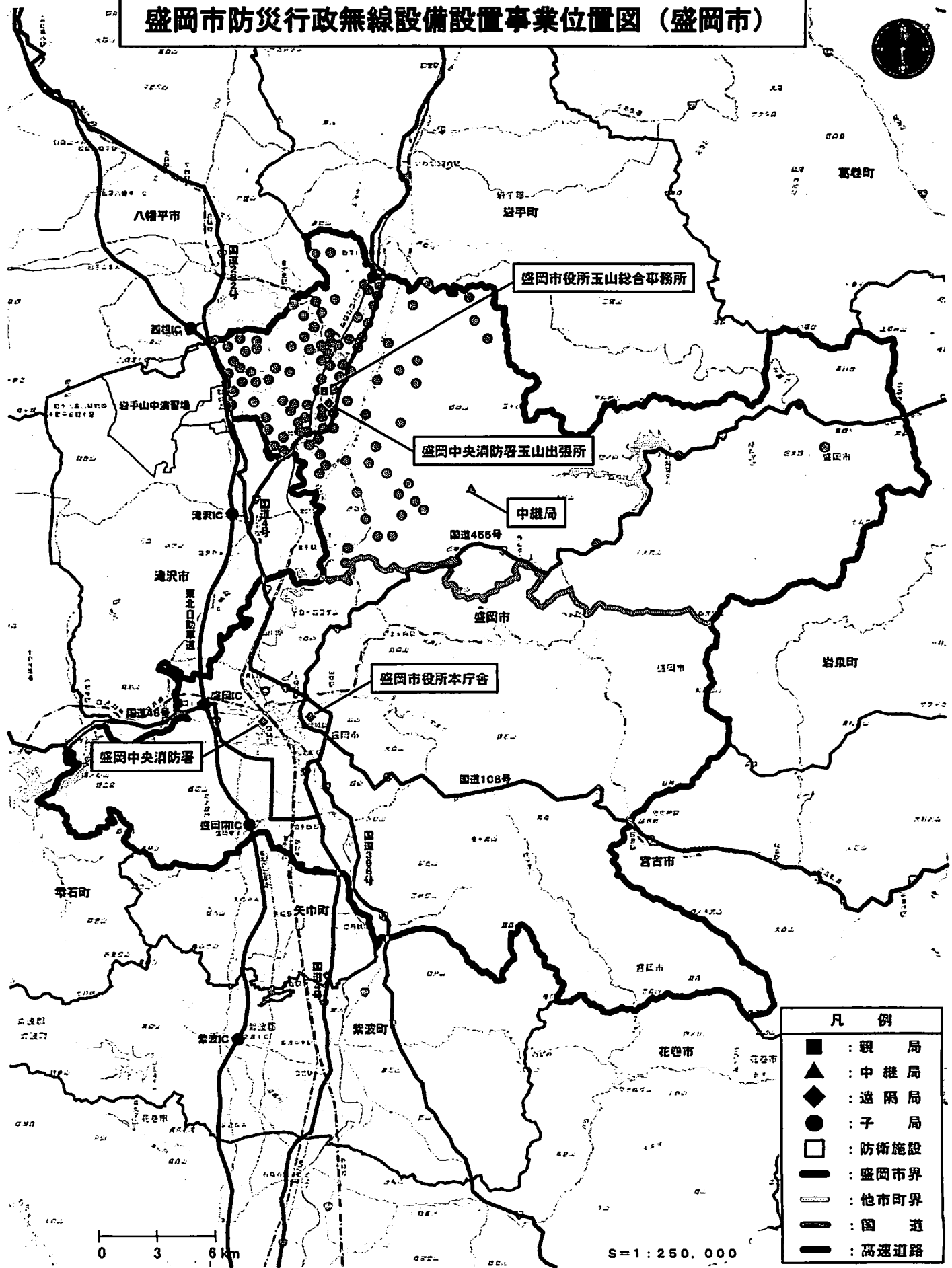
防衛施設周辺の自治体は、我が国の防衛基盤である基地の存続を支援し、その安定的使用を確保するため、基地周辺住民の理解と協力を得る努力を傾注しております。盛岡市玉山地域は、陸上自衛隊岩手駐屯地岩手山中演習場に隣接しており、本演習場では、各種火器及び戦車の実射等、実戦を想定した演習が展開され、過去には日米共同訓練も実施されるなど、内容によっては周辺住民の大きな不安要素となりうる状況も想定されます。演習場が地域との共存を図っていくためには、引き続き、防衛施設の周辺整備を行うなど、民生安定化対策を講ずる必要がありますが、周辺住民が受ける影響を防止し、軽減するための対策として多くの財政需要が生じております。

本市玉山地域では、平成元年から平成5年にかけて民生安定施設整備事業を活用し防災行政無線を配備、平成6年には単費で子局を追加配備し、周辺住民に対する演習内容等の周知のほか、災害時における避難勧告など緊急情報の伝達や各種の行政情報の広報のための媒体としても広く活用するなど、地域の民生安定化や安心・安全などのための対策を講じてきたところであります。

しかしながら、既設の防災行政無線については、老朽化により住民への情報提供等に支障が生じておりますことから、更新が必要となっており、併せて、デジタル化への切替えが必要となっております。

つきましては、この防災行政無線の更新・デジタル化整備推進のため、防衛施設周辺整備事業（民生安定施設整備事業）の補助事業とすることを要望いたします。

# 盛岡市防災行政無線設備設置事業位置図（盛岡市）



凡 例	
■	: 親 局
▲	: 中 継 局
◆	: 遠 隔 局
●	: 子 局
□	: 防衛施設
— (thick)	: 盛岡市界
— (thin)	: 他市町界
— (dashed)	: 国 道
— (double)	: 高速道路

0 3 6 km

S=1:250,000

# 県予算に対する統一要望事項

## スポーツ推進施策の充実強化について

東日本大震災復興の架け橋「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」は、大成功のうちに閉幕いたしました。岩手県当局のこれまでのご尽力に深く敬意を表する次第であります。

競技環境の整備や県民総参加のおもてなし、そして何よりも岩手県選手団の活躍が私たちに大きな希望と感動を与えてくれました。

この「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の遺産を確実に未来に引き継いでいくことは、私たちの重要な責務であります。

このような中で平成29年度知事部局に、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催等に備え、文化・スポーツを核とした諸施策を観光振興施策等との連携を図りながら、効果的、戦略的に展開するため、文化スポーツ部を新設し、文化・スポーツ振興戦略を策定されたところであり、今後の施策展開に大いに期待しているところであります。

本市におきましても、「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の遺産を継承するため、スポーツ推進課内にスポーツツーリズム推進室を設置し、カナダを相手国とするホストタウン交流事業や盛岡広域スポーツコミッションの運営、RW C2019 公認チームキャンプ地選定プロセスへの対応などメガスポーツイベントへの対応に取り組んでいるところであります。

つきましては、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の感動を県民・市民が味わい、地域活性化に多大なる貢献が期待できるスポーツ施策のさらなる推進を図るため、次のとおり要望いたします。

### 記

- 1 希望郷いわて国体のレガシー（遺産）として未来に引き継ぐため、県内競技団体に対する強化費用の水準維持と支援を継続していただきたいこと。
- 2 県営施設の整備計画について早急に策定いただきたいこと。
- 3 カナダを相手国とするホストタウン交流事業実施にあたり、スポーツクライミング競技の事前キャンプ誘致実現に向けて全面的支援をいただきたいこと。
- 4 つなぎスイミングセンター跡地については、隣接する盛岡市つなぎ多目的運動場との相乗効果が期待できる活用を検討いただきたいこと。

## 水道施設の耐震化等の推進について

水道は市民生活や産業活動を支える重要な基盤施設であり、大規模地震等による災害が発生した場合においても、水道事業者には飲料水等生活に必要な水を供給することが求められています。

また、高度経済成長期前後に整備された水道施設の老朽化が進んでおり、計画的な施設更新の必要性が高まっています。こうしたことから、水道事業者は、この対応のための施設整備（施設耐震化、老朽施設の更新）に「水道施設耐震化等推進補助金(交付金)」を充当することで水道事業経営への負担を極力軽減しながら推進し、災害に強い水道の構築を目指しています。

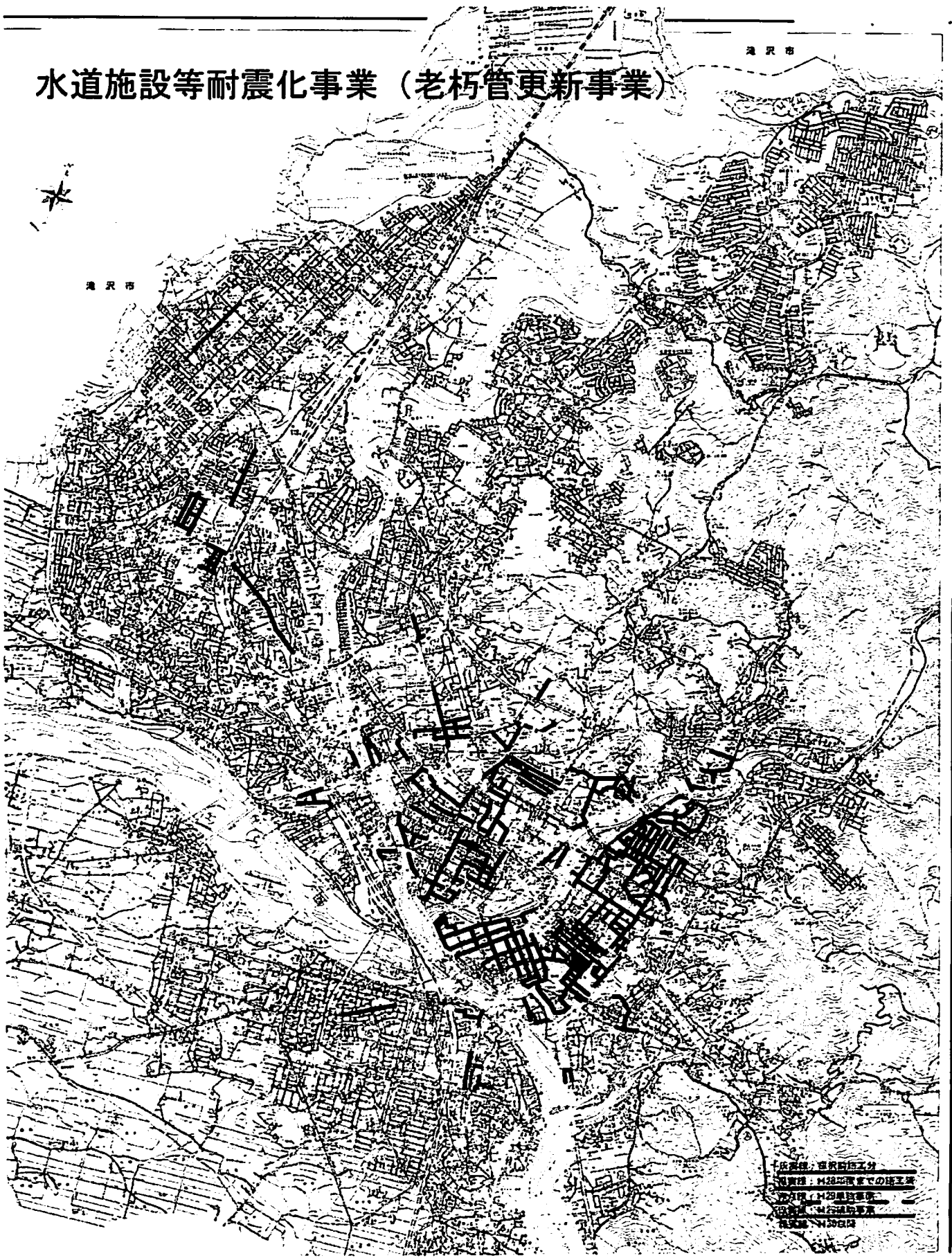
しかしながら、平成 28 年度実績では、補助内示率は 60.5%となっており、今後も低い内示率が継続する場合には、計画した事業の進捗に遅延が生じる懸念があります。

つきましては、その補助制度の特性を存分に発揮し、滞りなく事業を推進するため、生活基盤施設耐震化等交付金の予算確保について、国に働きかけていただくとともに、水道施設耐震化等推進事業費補助金の予算確保と要望額通りの補助を要望いたします。

# 水道施設等耐震化事業（老朽管更新事業）

滝沢市

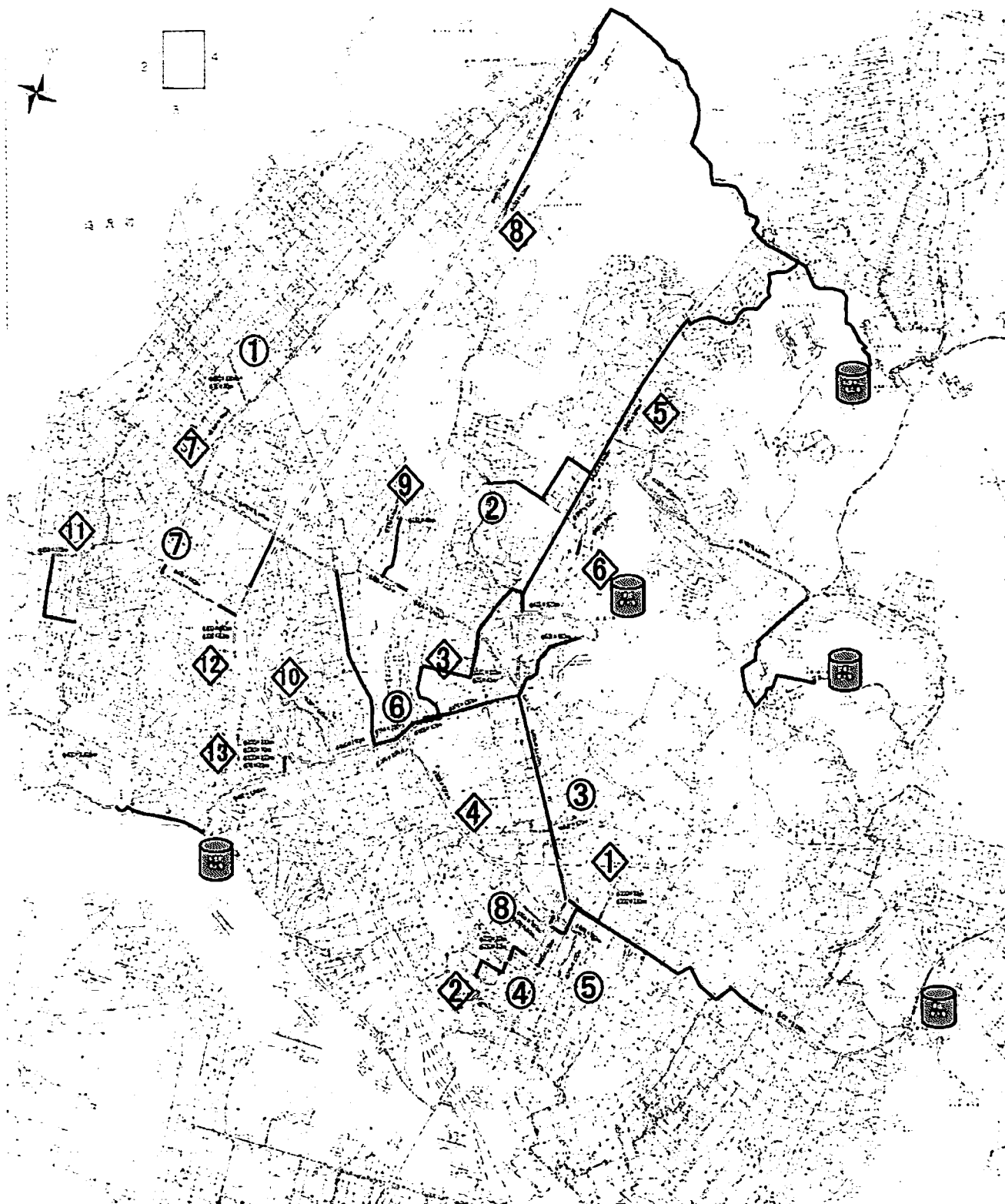
滝沢市



※ 対象区：老朽管更新区分  
※ 対象区：M28区までの埼玉  
※ 対象区：M28区までの埼玉  
※ 対象区：M28区までの埼玉  
※ 対象区：M28区までの埼玉



# 水道施設耐震化事業(重要給水施設配水管)



**黒実線:整備済み路線**  
**赤実線:H29補助事業**  
**緑実線:H30以降計画路線**

## 市町村連携イベントの推進について

東北を代表する6つの夏祭りが一堂に会し、東日本大震災からの復興を発信する東北六魂祭は、平成23年度に仙台市で初めて開催された後、盛岡市、福島市、山形市、秋田市と継続開催され、平成28年度の青森開催をもって東北6県を一巡し、震災からの復興に立ち向かう東北の姿を国内外にアピールするなど、東北の観光復興に大きな成果をもたらしたところであります。

また、平成29年度以降は、東北が一つになって、被災地への国内外からの支援に対する感謝の気持ちを表し、復興に全力で取り組む東北の元気な姿を継続して発信するため、東北六魂祭の後継となる「東北絆まつり」を開催することとしております。

東北絆まつりは、6市一巡開催を目指すこととしており、平成29年度の仙台開催後の開催順は現段階では未定となっておりますが、東北六魂祭の例にならない、平成30年度の盛岡開催が有力となっております。

来るべき東北絆まつりの盛岡開催においては、復興の歩みを一層加速させるとともに、東北・岩手の元気を国内外に発信するため、盛岡市は、関係機関や観光団体などと連携し、岩手県内の全市町村に参加を呼びかけ、オール岩手による東北絆まつりの盛り上げを図るとともに、平成29年度において、広域や被災地の祭りや郷土芸能、食の魅力などを集結した復興イベントの開催を予定しております。

つきましては、被災地の復興と東北・岩手の観光の活性化に向けて、県内市町村の連携をより強固なものとするため、平成30年度の東北絆まつり盛岡開催におけるオール岩手の取組に係る県の支援について、特段の御配慮をいただきたく要望いたします。

## 社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る事業の推進並びに財特法の補助率嵩上げ措置継続について

盛岡市では、「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」を将来像に掲げ、<sup>なつやちよう</sup> 鉾屋町をはじめとする歴史的街並みを活用した地域の活性化や、時代の変化に合わせた新たな手法を盛り込んだ土地区画整理事業等による都市基盤の整備、「もりおか交通戦略」による都市活動を支える交通を中心とした交通環境の構築などの各種施策のほか、地域の活力ある社会経済の維持を目的に、東日本では初となる盛岡広域8市町による「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、その推進に取り組んでいるところであります。

このような状況の下、社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金は、地域の実情に応じて柔軟な活用が可能な創意工夫を生かせる一括交付金であり、本市においては、連携中枢都市圏の交通ネットワークの構築や円滑な都市活動及び安全な交通の確保をはじめ、インフラの長寿命化計画を踏まえた老朽化対策、通学路の歩道空間の確保や踏切道の拡幅等による安全対策、無電柱化による歴史的町並み等の景観形成、河川整備や下水道整備による市街地の浸水対策や健全な水環境・良好な水循環の創出など住民の安全で快適な生活環境の確保等、市民生活の向上に大きく寄与しております。整備によるストック効果としては、ここ数年本市への観光客入込数が増加しており、今後においても安全・安心な都市基盤施設の構築はもとより、交通ネットワークの構築による経済活動における生産性の向上や観光等の交流人口増加による賑わいの創出に繋がるものと期待しております。

このような中、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」（以下、財特法。）の規定による補助率等の嵩上げ措置が平成29年度末で切れ、平成30年度から地方負担が増加することになれば、自治体運営に大きな影響を与えることとなります。

つきましては、本交付金の特性を存分に発揮し、滞りなく事業を推進するため、事業費の確保及び財特法の平成30年度以降の継続について国への働きかけと適正な配分について要望いたします。

## 一般国道106号「都南川目道路」の整備促進について

一般国道106号は、太平洋沿岸の重要港湾宮古港を有する宮古市を起点として、県都盛岡市に至る延長約100Kmの路線であり、一般国道46号と連結し、日本海沿岸の主要都市秋田市を結ぶ県央部横軸を形成し、岩手県の産業・経済・文化の交流や観光開発等において大きな役割を担う極めて重要な路線であります。

また、東北縦貫自動車道及び東北新幹線による中央と東北を結ぶ縦の高速交通軸の効果を北東北全域に波及させ、国土の均衡ある発展に寄与する重要路線であり、特に宮古盛岡横断道路は、宮古市を中心とした三陸沿岸地区と盛岡都市圏との強力な連携を促進することにより、産業経済の活性化とあわせて、三陸沿岸地区の早期復興を支援する道路でもあります。平成30年6月には、宮古―室蘭フェリ一定期航路開設が予定されており、北海道と東北、首都圏間の交流・物流の活性化により、東北の復興を後押しし、港湾と道路のストック効果の発現が期待されています。

このような中、国におきましては、平成24年度から、新たに宮古～箱石間、平津戸・岩井～松草間、区界～築川間の3工区48Kmが本格的に事業着手され、平成25年3月には、「築川道路」が供用開始されたところであり、平成28年3月には、「都南川目道路」の川目IC～田の沢IC間が供用となり、着実に事業に取り組んでいただいております。

一般国道106号「都南川目道路」は、東北縦貫自動車道とのアクセスの強化、盛岡市中心部へのアクセス向上や高次医療施設への救急搬送を担う重要な区間ともなっております。

つきましては、広大な面積を有する岩手県において、災害に強い県土を構築し、豊かな地域資源を活かした地域づくりの実現と、「ひと・まち・未来が輝き世界につながる盛岡」の実現のために、一般国道106号「都南川目道路」の整備促進について国に働きかけていただきたく要望いたします。

## 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」の整備促進及び直轄指定区間編入について

一般国道 106 号は、太平洋沿岸の重要港湾宮古港を有する宮古市と県都盛岡市を結ぶ延長約 100 km の路線であり、東日本大震災の際には、緊急輸送道路の「くしの歯作戦」の一路線として、迅速な救助活動、救援物資の搬送ルートとして利用され、現在「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」として、国の権限代行により整備にご尽力いただいているところです。

本路線は、宮古・盛岡間の移動時間が短縮され、物流の効率化促進はもちろんのこと、これに伴う地域産業の活性化、周遊観光圏域の拡大による経済効果、沿岸部から内陸部の高次医療施設への救急搬送や医療活動の安定性・迅速性の確保ができるなど、「ストック効果」の発揮が大いに見込める路線であります。

また、盛岡市と日本海沿岸の主要都市である秋田市を結ぶ一般国道 46 号・13 号とあわせて、太平洋と日本海を結ぶ、国土軸を形成する重要路線でもあります。

一方、本路線は、北上高地特有の急峻な地形のため、トンネルや高架橋による整備により、高度な維持管理に関する技術が必要とされます。また、全区間延長の約 40% を超える区間が別線であり、別線整備区間の現道における既存集落については、生活道路としての機能確保、バス路線維持等の自治体としての新たな役割が必要と見込まれており、国と地方自治体の役割分担による適切な管理が望まれます。

つきましては、東日本大震災からの早期復興に向け、災害時や冬期間の道路交通の確保を一段と確かなものとし、三陸沿岸地区と内陸との強力な連携により北東北地域の産業・経済・文化の交流、豊かな地域資源を活かした観光誘客等の促進を図るとともに、国と地方自治体の役割分担による適切な維持管理が図られるよう、次のことを国に働きかけていただきたく要望いたします。

### 記

- 1 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」の整備促進を図ること。
- 2 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」については、国が直轄で管理すること。

## 一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化整備促進及び主要地方道上米内湯沢線以南への南進について

一般国道46号「盛岡西バイパス」は、盛岡都市圏西側の環状道路の一部の機能を担う重要な路線であり、一般国道106号と連絡し、秋田市～盛岡市～宮古市を結ぶ地域連携軸を形成する重要な路線となっております。

復興支援道路として整備が進められている宮古盛岡横断道路の都南川目道路については、平成31年度供用の目標宣言がされており、主要地方道上米内湯沢線を経由した東西の広域連携を強化するものと確信しております。

国道46号の盛岡西バイパスの南端と接している主要地方道上米内湯沢線の沿線は、盛岡流通センターや盛岡市中央卸売市場、JR盛岡貨物ターミナル等、物流施設が立地し、また、国道4号や国道46号盛岡西バイパス並びに東北縦貫自動車道盛岡南IC、国道106号都南川目道路が接続している道路環境にあることから、交通が集中し、国道4号や上米内湯沢線、その周辺道路に慢性的な渋滞が発生しております。

本市においては、人口減少や少子高齢化に対応した持続可能な都市圏域を形成する中心都市として、医療等の高次都市機能の集積強化を推進するコンパクト&ネットワークの形成を図っていく必要があります。

特にも、盛岡広域圏では、医療救急の中核を担う岩手医科大学附属病院を中心とした医療体系の構築が課題の一つとなっており、この医療体系を効率的に機能させるためには、一般国道をはじめとする主要幹線道路等のネットワーク形成が重要となっております。

つきましては、盛岡市を中心とした連携中枢都市圏の圏域人口の維持、持続可能な経済・産業圏域の形成、高次都市機能の集約強化を図るとともに、渋滞がなく効率的な都市圏道路ネットワークの形成のため、国道46号盛岡西バイパスの4車線化及び上米内湯沢線以南への延伸について国に働きかけていただきたく要望いたします。

## 道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点を目指し、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、歩行者の安全確保や道路事情の改善を図るためには、道路整備の実情は未だ十分とはいえない状況にあり、広域連携等の推進を図るための道路整備をはじめとして、学校、警察、道路管理者による通学路の緊急合同点検結果を踏まえた交通安全施設の整備が急務となっております。

本市においては、人口減少、少子高齢社会に向けた取組として、東日本で初となる連携中枢都市圏として、盛岡広域の連携した取組を進めており、滝沢市、矢巾町との結びつきやネットワークの強化を図るなどにより両市町との一体的な発展を図るため、都市圏ビジョンに位置付けられた重要な基幹道路の整備が求められております。

また、市街地を3河川（北上川、中津川及び雫石川）が流れ、多くの橋を有しておりますが老朽化しており、このほど制定された「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を踏まえた、災害時にも対応した適切な長寿命化対策が課題となっております。

つきましては、道路局所管盛岡市道路整備事業の着実な推進に加え、道路インフラの老朽化対策として、予算の安定的な確保及び人材育成のための研修制度等の充実について要望いたします。

区分	路線名	要望地区	工種
継続	津志田白沢線 (連携中枢都市圏路線)	永井地区	道路改築
〃	谷地頭線 (連携中枢都市圏路線)	厨川地区	〃
〃	岩手公園開運橋線	菜園地区	交通安全
〃	東中野門線	東中野地区	〃
〃	南大橋明治橋線	鉾屋町地区	〃
〃	岩手飯岡駅東西自由通路	永井地区	〃

## 一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について

一般国道4号渋民バイパスは、盛岡市<sup>しづたみ</sup>渋民<sup>おおまえだ</sup>字大前田から玉山馬場<sup>たまやまばば</sup>字川原<sup>かわはら</sup>に至る約5.6kmのバイパスであり、暫定2車線として整備が進められ、平成16年12月には渋民字大前田からの約2.5kmの区間が開通し、平成27年4月に玉山馬場字川原に至る全線が開通しております。

これにより、旧玉山村の市街地を通過する旧国道4号の交通量は半減し、特に、大型車車輛の激減により、通学路の安全性が確保されるなど、地域の安全で安心な道路環境が確保されました。

道の駅構想については、平成6年頃から検討され、平成7年には一部用地を確保していたものでありますが、平成27年4月に国道4号渋民バイパスが全線供用されたことを受け、盛岡市として初の道の駅の整備に向け、市の各部局をあげて整備方針の具体的な検討を始め、平成28年度には基本計画の作成に着手し、地域住民や関係団体の協力のもと、計画策定を進めております。

本市の目指す道の駅は、姫神山や岩手山の眺望をいかしながら、石川啄木記念館や旧尋常小学校の建築物など、啄木ゆかりの施設との連携により、啄木が愛した原風景や過ごした時間を感じていただける施設であるとともに、渋民バイパス利用者の休憩場所・道路情報等の提供場所として、道路利用者や地域住民の交通安全の確保と利便性向上を図るほか、地域産業である、付加価値のある農畜産物の販売や素材を生かした食をテーマとする地域振興の拠点施設となり、また、啄木を愛する地域住民や子ども達の集いの場となる施設であります。

つきましては、渋民バイパスの全線開通を契機に、地域資源を活用した地域再生を図るため、早期の整備が必要となっている状況にありますことから、当該道の駅整備の着実な推進について国に働きかけていただきたく要望いたします。



## 都市局所管盛岡市街路事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点都市を目指し、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、既成市街地は、城下町特有である道路の整備率の低さのため多車線道路が少なく、バス等の公共輸送機関が有効に機能しない状況となっております。さらに、新市街地の形成や隣接市町への市街地の拡大等により交通需要は増加傾向にあり、既成市街地の主要道路や中心市街地へ連絡する幹線道路等は、恒常的な交通混雑を引き起こし、円滑な都市活動や安全な交通の確保等が著しく阻害されており、街路の整備が急務となっております。

本市においては、「もりおか交通戦略」を立案し、バスを中心とした公共交通軸の充実・強化や中心市街地へのアクセス交通を分散誘導の実現を図るべく交通政策と一体となった街路事業に取り組んでいるところであります。

つきましては、都市局所管盛岡市街路事業の着実な推進についてご配慮いただきたく要望いたします。

区 分	路 線 名	要望地区	工 種
継 続	<small>なしのきちようかみよない</small> 梨木町上米内線	梨木町地区外	道路改築
〃	<small>もりおかえきみなみおおどおり</small> 盛岡駅南大通線	<small>おおさかわら</small> 大沢川原地区	〃
〃	<small>めいじばし</small> 明治橋大沢川原線	<small>おおどおり</small> 大通地区外	〃

## 盛岡市内の県道の整備促進について

盛岡市は、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療などの高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤施設の効率的な整備に鋭意努力しているところであります。

しかしながら、新市街地の形成や周辺町村の市街地拡大に伴う本市への交通需要の増加等により、随所で恒常的な交通混雑が発生するなど、市民生活はもとより経済活動にも影響を及ぼしており、円滑な交通の確保を図るため、幹線道路の整備が急務となっております。

特に、自動車交通の増加に伴う幹線道路の整備は、中心市街地と周辺部を安心・安全なネットワークの強化が図れ、行政、経済、教育・文化、医療など高次の都市機能を支援できることや、地域づくりや広域経済にもたらす波及効果が大きく、関係住民の大きく期待するところであります。

また、玉山地域の一般県道<sup>しづたみかわまた</sup>渋民川又線・主要地方道<sup>もりおかかんじょう</sup>盛岡環状線及び一般県道<sup>しづ</sup>渋民田頭線<sup>たみでんどう</sup>・好摩停車場線<sup>こうまていしゃば</sup>の未整備区間につきまして、歩道設置いただき、連続した安全な歩行空間を確保いただきますよう併せて要望いたします。

つきましては、次の県道の整備促進について要望いたします。

区分	路線名	要望地区
継続	一般県道 <sup>おおがゆうとくた</sup> 大ケ生徳田線	徳田橋
〃	一般県道 <sup>しづたみかわまた</sup> 渋民川又線・主要地方道 <sup>もりおかかんじょう</sup> 盛岡環状線	門前寺地区、白沢地区、鷹高地区、川又地区
〃	一般県道 <sup>しづたみかわまた</sup> 渋民田頭線・好摩停車場線	好摩地区、大台地区
〃	都市計画道路 <sup>むかいなかのあべたて</sup> 向中野安倍館線	前九年二丁目から上堂一丁目地区
〃	都市計画道路 <sup>ながたちょう</sup> 盛岡駅長田町線	長田町地区
〃	都市計画道路 <sup>もとみや</sup> 盛岡駅本宮線	杜の大橋
〃	主要地方道 <sup>いわひめばし</sup> 盛岡環状線	岩姫橋

# 盛岡市内の県道整備促進に係る要望箇所図

滝沢市

## 都市計画道路

番号	路線名
①	向中野安倍館線(上堂工区)
②	盛岡駅長田町線
③	盛岡駅本宮線(社の大橋)

## 県道整備促進による効果

### 現状

- ◆ 中心市街地に流出入する区間に恒常的に交通渋滞が発生し、公共交通にも影響を及ぼしている。
- ◆ 中心市街地と周辺部を安心・安全にアクセスできる幹線道路の整備が求められている。



### 整備による効果

- ◆ 中心市街地と周辺部を安心・安全なネットワークの強化から、行政、経済、教育・文化、医療など高次の都市機能を支援
- ◆ 公共交通軸を形成することで、公共交通利用促進と中心市街地の交通環境の向上
- ◆ 地域づくりや広域経済への波及効果が期待される。

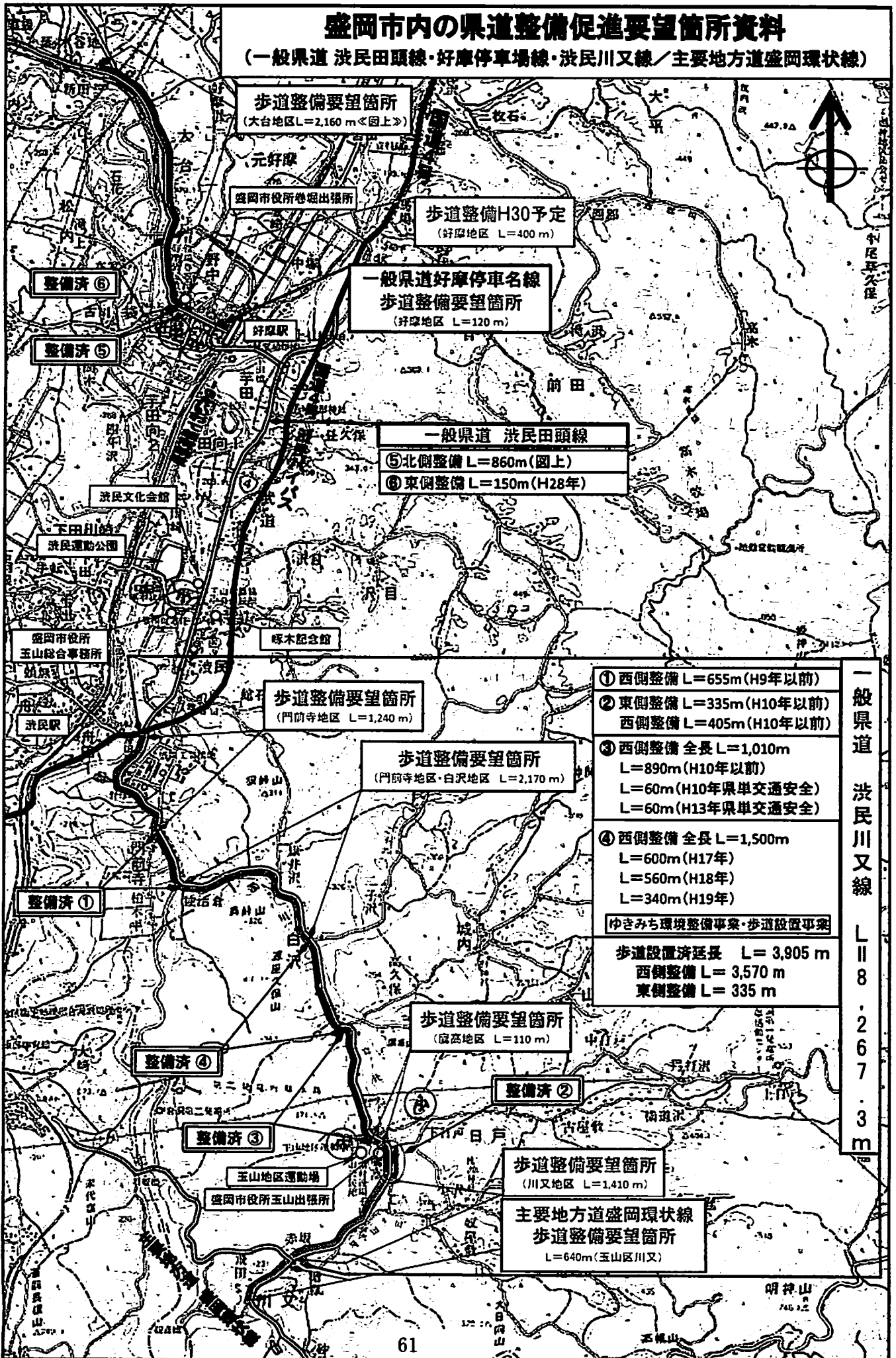


渋滞発生状況

矢巾町

# 盛岡市内の県道整備促進要望箇所資料

(一般県道 渋民田頭線・好摩停車場線・渋民川又線 / 主要地方道盛岡環状線)



**歩道整備要望箇所**  
(大台地区 L=2,160 m <図上>)

**歩道整備H30予定**  
(好摩地区 L=400 m)

**一般県道好摩停車場線  
歩道整備要望箇所**  
(好摩地区 L=120 m)

**一般県道 渋民田頭線**  
⑤北側整備 L=860m(図上)  
⑥東側整備 L=150m(H28年)

**歩道整備要望箇所**  
(門前寺地区 L=1,240 m)

**歩道整備要望箇所**  
(門前寺地区・白沢地区 L=2,170 m)

- |   |
|---|
| ①西側整備 L=655m(H9年以前)   |
| ②東側整備 L=335m(H10年以前)<br>西側整備 L=405m(H10年以前)                                   |
| ③西側整備 全長 L=1,010m<br>L=890m(H10年以前)<br>L=60m(H10年県単交通安全)<br>L=60m(H13年県単交通安全) |
| ④西側整備 全長 L=1,500m<br>L=600m(H17年)<br>L=560m(H18年)<br>L=340m(H19年)             |
| ゆきみち環境整備事業・歩道設置事業   |

歩道設置済延長 L = 3,905 m  
西側整備 L = 3,570 m  
東側整備 L = 335 m

**歩道整備要望箇所**  
(鷹高地区 L=110 m)

**整備済 ②**

**歩道整備要望箇所**  
(川又地区 L=1,410 m)

**主要地方道盛岡環状線  
歩道整備要望箇所**  
L=640m(玉山区川又)

一般県道 渋民川又線 L 118.267.3 m

## 岩手県管理河川改修事業の促進について

盛岡市内を流れる岩手県管理河川のうち、一級河川北上川水系木賊川<sup>きたかみがわ とくさきがわ</sup>では、平成14年7月の台風により115戸の床上・床下浸水被害、平成19年9月の大雨では避難勧告の発令、また、一級河川北上川及び一級河川松川<sup>まつかわ</sup>においては、平成25年9月に発生した台風により、86戸の床上・床下浸水をはじめ道路や農地への冠水、河川護岸の崩壊など甚大な被害が生じているなど、住民に大きな不安を与えております。

また、被害にあった玉山<sup>たまやま</sup>地域においては、早期の抜本的河川改修が求められております。

つきましては、岩手県により進められております、この3河川の改修事業により、災害による被害の軽減と市民の安全安心な生活が確保されますよう、事業の促進について要望いたします。

## 都市基盤河川改修事業の推進について

盛岡市内を貫流する一級河川北上川水系南川<sup>みなみかわ</sup>は、毎年、降雨期には洪水による浸水被害が懸念されており、沿川住民の不安を解消するため、早期の河川改修が強く要望されております。

本河川は、盛岡南新都市土地区画整理事業の完工に伴い、雨水の流出量が増加し、整備が急務となっております。また、道明地区<sup>どうみょう</sup>土地区画整備事業及び同地区に隣接して実施されている生活環境整備事業においては、10年以内での完成を目指し整備が進められており、市民の安全と安心のために、本河川の整備と一体で取り組む必要があります。

つきましては、都市基盤河川改修事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

やながわ

## 築川ダム建設事業の促進について

築川ダム建設事業が着実に進展しておりますことは、岩手県御当局の御尽力によるものと深く感謝いたしております。

一級河川築川流域の洪水氾濫危険区域には、約 6,300 人が生活しており、平成 14 年 7 月の台風 6 号の洪水では堤防の一部が崩落するなど、浸水被害が懸念され、住民に大きな不安を与えております。

近年、全国的に集中豪雨や局所的な大雨が増大するなか、平成 25 年 8 月 9 日に発生した低気圧による大規模な出水では、御所ダム及び四十四田ダムにおいて洪水調節等の連携により河川の水位低減を図り、洪水被害の防止に大きな役割を果たしました。

築川ダムには市民の安全安心な生活を確保するための洪水防御の役割のほか、水道水の確保や河川環境の保全、水力発電による二酸化炭素の軽減など多くの役割を担っていることから、早期完成が期待されております。

つきましては、築川ダム建設事業の促進について要望いたします。

## 急傾斜地崩壊対策事業の促進について

がけ崩れを含めた土砂災害から地域住民の生命と財産を守り、安全な生活環境を確保するため、急傾斜地崩壊対策事業が着実に実施されておりますことは、岩手県御当局の御配慮によるものと深く感謝いたしております。

しかしながら、平成 23 年 3 月に発生した東北地方太平洋沖地震やその後の余震により、土砂災害危険箇所<sup>（注）</sup>の地盤が広範囲に緩み、大雨や地震による土砂災害の発生が懸念されております。

特に、「安倍館地区」<sup>あべたて</sup>では、要望箇所に加え、隣接する箇所においてがけ崩れが発生するなど、予断を許さない状況となっており、平成 25 年 8 月に発生した大雨・洪水により、繫地区<sup>つなぎ</sup>の急傾斜地の一部斜面が崩落するなど、地域住民の安全確保が必要となっております。

つきましては、急傾斜地崩壊対策事業の「安倍館地区」、「桜山<sup>さくらやま</sup>（その 3）地区」の新規事業採択、及び「山岸一丁目地区」<sup>やまがし</sup>、「下米内二丁目地区」<sup>しもよない</sup>、「繫地区」の事業促進について要望いたします。

また、平成 27 年 1 月には、改正土砂法が施行されましたことから、危険箇所の基礎調査の早期完了と、その結果の速やかな市民周知について要望いたします。



## 盛岡市土地区画整理事業の推進について

土地区画整理事業は、盛岡市のまちづくりに大きな役割を果たしてきたものの、少子高齢化・人口減少社会の進展や事業費確保、保留地等の土地処分価格の下落、事業の長期化などにより狭隘道路や上下水道未整備区域の解消といった生活環境の改善が進まない状況にあることから、事業計画の見直しが必要となりました。

このような状況を改善するため、平成 24 年度から関係権利者との意見交換会を重ね、また、<sup>どうみょう</sup>道明地区及び<sup>となんちゅうおうだいさん</sup>都南中央第三地区では事業区域の縮小を含む大幅な見直しを平成 27 年度に実施しており、<sup>おおた</sup>太田地区では平成 28 年度から事業費や事業期間の見直しの手続きを進めております。

しかしながら、土地区画整理事業については、事業区域の縮小等により事業費を削減してもなお多額の事業費が見込まれることから、財源を確保して一層の事業推進を図る必要があります。

また、土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域においては、道路整備を中心として土地区画整理事業と合わせた地区全体の生活環境改善の早期効果発現を行うべく、事業推進を図る必要があります。

つきましては、盛岡市の土地区画整理事業の推進と土地区画整理事業によらない区域の生活環境改善推進について御配慮いただくとともに、国に働きかけていただきたく要望いたします。

地区名	太田	道明	都南中央第三
施行面積 (ha)	区画整理 77.2	区画整理 21.7 区画整理外 48.9 計 70.6	区画整理 26.5 区画整理外 17.5 計 44.0
事業期間	H5～H34 (清算H39) (H5～H36 (清算H41))	H15～H35 (清算H40)	H12～H34 (清算H39)
総事業費 (百万円)	区画整理 27,003 (31,300)	区画整理 5,620 区画整理外 2,863 計 8,483	区画整理 8,140 区画整理外 363 計 8,503
今後の見通し	～H36 まで (7年)	～H35 まで (6年)	～H34 まで (5年)
残事業費 (百万円)	区画整理 6,383 (10,680)	区画整理 2,576 区画整理外 2,738 計 5,314	区画整理 2,614 区画整理外 317 計 2,931

※上表「区画整理外」は、「土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域」

※太田地区の総事業費（）、事業期間（）、残事業費（）は計画変更後の見込額

## 循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進 について

盛岡市は、健全で良好な水環境の創出を目指して、公共用水域の水質保全及び衛生的な生活環境の確保を図るため、「公共下水道」「農業集落排水」「浄化槽」の3事業により、汚水処理事業を推進しています。そのうち、公共下水道の事業計画区域及び農業集落排水の事業計画区域を除いた区域については、循環型社会形成推進交付金を利用し、浄化槽の整備を進めております。

また、近年の交付金制度への移行に伴う国費等の財源確保の困難性、人口減少等の社会経済情勢の変化、今後増大する汚水処理施設の改築・更新を踏まえ、より効率的に持続可能な汚水処理事業を推進するため、市では平成27年度に「盛岡市汚水処理基本計画」を策定いたしました。この計画においては、公共下水道の計画区域を縮小し、浄化槽による整備区域を拡大することとしています。

環境や衛生に対する市民意識は大きく高まってきており、浄化槽による早期の汚水処理の要望が増加している傾向にあり、さらに、毎年のように、多くの市民から浄化槽設置の要望が寄せられていますが、その要望に対して応えることができない状況が続いています。

つきましては、盛岡市浄化槽設置整備事業の一層の推進を図るため、浄化槽整備における循環型社会形成推進交付金の予算確保について国に働きかけていただくとともに、当該交付金と同額の浄化槽設置整備事業費補助金の予算確保について要望いたします。

# 平成 29 年度 国・県予算要望成果

(平成 29 年 5 月 15 日現在)

## 平成 29 年度国予算要望成果

注：件名欄に（国，県）とあるのは，国及び県の両方に要望した項目です。

No.	件名	要 望 成 果			
1	社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る事業の推進について (国，県)	(単位：千円)			
		要望計画名	要望額	配分額	配分額 ／ 要望額
		北東北の交流拠点としての快適な都市基盤づくりと盛岡市民が安全で安心して通行できる道づくり	248,900	56,098	22.5%
		もりおか交通戦略の推進	372,350	246,220	66.1%
		賑わいのある市街地の基盤づくり	1,627,738	650,740	40.0%
		岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした都市基盤づくり	161,150	73,888	45.9%
		盛岡市における健全な水環境・良好な水循環の創出	290,500	290,500	100.0%
		緑が文化になるまち'盛岡'の形成	101,119	14,000	13.8%
		第2期 岩手県地域における住宅セーフティネットの構築と住環境の整備(地域住宅計画)	654,190	359,438	54.9%
		北東北の交流拠点としての快適な都市基盤づくりと盛岡市民が安全で安心して通行できる道づくり(防災・安全)	423,948	174,281	41.1%
		いわての社会資本の事前防災・減災対策と戦略的な維持管理(防災・安全)	5,500	1,540	28.0%
		いわての社会資本の事前防災・減災対策と戦略的な維持管理(防災・安全)(総合流域防災事業)	5,000	5,000	100.0%
		いわての社会資本の事前防災・減災対策と戦略的な維持管理(防災・安全)(都市基盤河川改修事業)	95,000	95,000	100.0%
		いわての橋梁の適確な老朽化対策の推進(防災・安全)	193,050	177,870	92.1%
		いわての通学路等の安全・安心の確保(防災・安全)	866,260	720,428	83.2%
良好な生活環境と健全な下水道の創出(防災・安全)	544,000	398,200	73.2%		
盛岡市宅地耐震化推進事業(防災・安全)	1,600	1,520	95.0%		
盛岡市における安心して安全な都市公園づくり(防災・安全)	75,532	30,000	39.7%		

No.	件名	要望成果			
			第2期 岩手県安全で安心できるすまい づくり・まちづくり	6,283	4,159
		合計	5,672,120	3,298,882	58.2%
2	一般国道106号 「都南川目道路」の整備促進 について (国, 県)	<p>本路線は、築川道路側の川目 IC～田の沢 IC 間が平成28年3月に供用開始された。</p> <p>平成29年度事業予定概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 開通必要額28億円</li> <li>・事業予定内容 調査推進：道路設計 用地買収推進, 支障移転補償 工事推進：トンネル工, 改良工</li> <li>・用地進捗率 約99% (H29年3月)</li> <li>・事業進捗率 約74% ( " )</li> </ul>			
3	一般国道106号 「宮古盛岡横 断道路(復興支 援道路)」の整 備促進及び直 轄指定区間編 入について (国, 県)	<p>平成29年度事業予定概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 開通必要額 54億円</li> <li>・事業予定内容 調査推進：道路・構造物設計 用地買収推進, 支障移転補償 工事推進：トンネル工, 橋梁工, 改良工</li> <li>・用地進捗率 約99% (H29年3月)</li> <li>・事業進捗率 約62% ( " )</li> </ul>			
4	一般国道46号 「盛岡西パイ パス」の2車線 共用区間の4 車線化整備促 進及び主要地 方道上米内湯 沢線以南への 南進について (国, 県)	<p>平成28年度事業内容</p> <p>調査推進 (道路設計) 用地買収推進 (支障移転補償) 工事推進 (改良工事)</p> <p>平成29年度事業予定概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 ～3億円程度</li> <li>・事業内容 調査推進 (道路設計) 工事推進 (改良工事)</li> <li>事業進捗率 約75% (H29年3月)</li> </ul>			

No.	件名	要望成果				
5	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について (国, 県)	(単位: 千円)				
		区分	要望内容			要望成果
			路線名	工種	要望額	
		継続	津志田白沢線	道路改築	87,194	70,000
		"	谷地頭線	"	6,893	8,000
		"	岩手公園開運橋線ほか	交通安全	275,711	200,000
		"	東中野門線	"	6,893	6,000
		"	南大橋明治橋線	"	192,997	192,995
		"	岩手飯岡駅東西自由通路	"	116,341	41,707
計			686,029	518,702		
6	一般国道4号 渋民バイパス への道の駅整備について (国・県)	道の駅整備方針検討会への国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所職員の参加などの協力を得て、道の駅設置事業の推進を図った。				
7	都市局所管盛岡市街路事業の推進について (国, 県)	(単位: 千円)				
		区分	要望内容			要望成果
			路線名	工種	要望額	
		継続	梨木町上米内線	道路改築	278,000	205,373
		"	盛岡駅南大通線	"	101,000	35,300
		"	明治橋大沢川原線	"	296,000	205,000
計			675,000	445,673		
8	盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進について	<p>○河道内の「適切な管理」として、河道整正を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度の河道整正 中津川 約4,000 m<sup>2</sup></li> <li>○見前地区の堤防強化L=1,570mの内、平成28年度に約360mを施工済。また、平成25年8月9日出水の災害復旧事業として平成26年度に100mを対応済み。 平成29年度は約300mを施工予定。</li> <li>○雫石川右岸下流地区の堤防強化約320mを施工済。</li> </ul>				

No.	件名	要望成果
9	岩手県管理河川改修事業の促進について (国, 県)	<p>1 「木賊川河川改修事業」  平成 27 事業費 36,060 千円  用地買収, 第二遊水地工事 一式</p> <p>平成 28 事業費 76,703 千円  (H27-28 繰越 10,000 千円を含む)  第二遊水地工事 一式</p> <p>平成 29 事業費 213,297 千円  (H28-29 繰越 133,297 千円を含む)  第二遊水地工事 一式</p> <p>2 「北上川・松川災害復旧事業」  ① 「北上川」 H26 事業費 116,354 千円  災害復旧 5 箇所 (H25~H27)</p> <p>② 「松川」 H26 事業費 635,409 千円  災害復旧 9 箇所 (H25~H27)</p> <p>3 「北上川・松川河川改修事業」  平成 27 事業費 23,000 千円  測量 (北上川 2.1km, 松川 6.4km)</p> <p>平成 28 事業費 (H28-29 繰越) 59,591 千円  松川地区用地測量・護岸詳細設計 一式</p>
10	都市基盤河川改修事業の促進について (国, 県)	<p>H28 事業費 270,000 千円  河道掘削 (延長 100m) 60,400 千円  用地補償費 一式 197,000 千円  用地測量 一式 12,600 千円</p> <p>H29 事業費 285,000 千円  工事負担金 (JR 横断) 285,000 千円</p> <p>H28 県事業 (H27-28 繰越) 136,409 千円  河道掘削 一式  護岸工 一式  市道橋 (函渠工) 一式</p>
11	一級河川北上川水系築川ダム建設事業の促進について (国, 県)	<p>H28 年度 1,999,942 千円  築川ダム建設事業費 1,999,942 千円  ・付替道路  機能補償林道 (改良) 一式</p> <p>・ダム  ダム本体工事 (堤体工) 一式  ダム本体工事 (基礎掘削工) 一式  ダム本体工事 (仮設備工) 一式</p> <p>H29 年度 4,850,000 千円  築川ダム建設事業費 4,850,000 千円  ・付替道路  機能補償林道 (改良) 一式</p> <p>・ダム</p>

No.	件名	要望成果																
		ダム本体工事（堤体工） 一式 ダム本体工事（基礎処理工） 一式 ダム本体工事（仮設備工） 一式 ・取水放流設備 取水放流設備工事（放流設備） 一式 取水放流設備工事（取水設備） 一式																
12	急傾斜地崩壊対策事業の促進について（国、県）	1 下米内二丁目地区 H21～H27 交渉継続 （一部地権者から計画への理解が得られず H27.10 休止） 2 測量調査・予備設計実施済み（用地交渉中） 3 H27 測量調査・予備設計実施済み H28 土質調査・詳細設計（H28-29 繰越） H29 用地調査予定 ※地元説明 4 H26 災害復旧，測量調査設計 H27 詳細設計 H28 用地調査・工事着手 H29 工事 5 H27 測量・概略設計 H28 測量・概略設計（H27 繰越） H29※地元説明																
13	盛岡市土地区画整理事業の推進について（国、県）	盛岡市土地区画整理事業 (単位：千円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">要望計画名</th> <th style="width: 15%;">要望額</th> <th style="width: 15%;">配分額（※）</th> <th style="width: 10%;">配分額／要望額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賑わいのある市街地の基盤づくり</td> <td style="text-align: right;">1,627,738</td> <td style="text-align: right;">650,740</td> <td style="text-align: right;">40.0%</td> </tr> <tr> <td>岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした基盤づくり</td> <td style="text-align: right;">161,150</td> <td style="text-align: right;">73,888</td> <td style="text-align: right;">45.9%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">1,788,888</td> <td style="text-align: right;">724,628</td> <td style="text-align: right;">40.5%</td> </tr> </tbody> </table> ※…平成 29 年 3 月 31 日内示 国費	要望計画名	要望額	配分額（※）	配分額／要望額	賑わいのある市街地の基盤づくり	1,627,738	650,740	40.0%	岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした基盤づくり	161,150	73,888	45.9%	合計	1,788,888	724,628	40.5%
要望計画名	要望額	配分額（※）	配分額／要望額															
賑わいのある市街地の基盤づくり	1,627,738	650,740	40.0%															
岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした基盤づくり	161,150	73,888	45.9%															
合計	1,788,888	724,628	40.5%															
14	盛岡地区かわまちづくり事業の促進について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地を流れる北上川，中津川は豊かで美しい自然を有し，石積護岸が街の景観を形成しているなど，盛岡市のシンボリックな存在となっているが，市民が親しむ河川敷内の遊歩道等の未整備箇所等があり，アクセス性や水辺の回遊性等に課題がある。</li> <li>・ その良好な観光資源である北上川，中津川の河川空間を観光アクセスや水辺の賑わいの創出の場として利活用を図るために，盛岡市が進める中心市街地活性化事業などの「まちづくり」と国が推進する「かわづくり」が連携した整備が必要である。</li> <li>・ 策定した「盛岡地区かわまちづくり計画書」を基に，更なる市民意見を聴取しながら積極的な整備が望まれる。</li> </ul>																



No.	件名	要望成果																																											
15	盛岡市公共下水道事業の推進について	<p>盛岡市公共下水道事業費 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>要望額</th> <th>暫定内示額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未普及解消事業費</td> <td>290,500</td> <td>290,500</td> </tr> <tr> <td>水質保全事業費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>浸水対策事業費</td> <td>544,000</td> <td>398,200</td> </tr> <tr> <td>改築更新事業費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>834,500</td> <td>688,700</td> </tr> </tbody> </table>	内 訳	要望額	暫定内示額	未普及解消事業費	290,500	290,500	水質保全事業費			浸水対策事業費	544,000	398,200	改築更新事業費			合 計	834,500	688,700																									
内 訳	要望額	暫定内示額																																											
未普及解消事業費	290,500	290,500																																											
水質保全事業費																																													
浸水対策事業費	544,000	398,200																																											
改築更新事業費																																													
合 計	834,500	688,700																																											
16	循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について	<p>平成29年度内示額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽設置整備事業（個人設置型） 事業費 20,665千円（交付金6,888千円）</li> <li>・整備基数 5人槽～30槽 浄化槽基数 50基</li> </ul>																																											
17	廃止した廃棄物焼却施設の解体撤去工事費に対する交付金制度の拡充について	成果なし																																											
18	国指定史跡盛岡城跡保存整備事業及び国指定史跡志波城跡保存整備事業の推進について	<p>1 史跡盛岡城跡保存整備事業 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">要望内容</th> <th rowspan="2">要望成果</th> </tr> <tr> <th>項 目</th> <th>要望額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>藤棚・階段・バラ園撤去工事</td> <td>5,057</td> <td>4,702</td> </tr> <tr> <td>二ノ丸・三ノ丸・鶴ヶ池樹木伐採工事</td> <td>14,749</td> <td>6,548</td> </tr> <tr> <td>電線地中化整備工事</td> <td>12,024</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>三ノ丸北西部石垣修復等実施計画</td> <td>8,629</td> <td>8,026</td> </tr> <tr> <td>藤棚・階段・バラ園撤去設計, 遺構測量</td> <td>4,515</td> <td>3,754</td> </tr> <tr> <td>石垣変位調査・石垣基礎調査</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>整備委員会・発掘調査等</td> <td>4,664</td> <td>3,370</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51,638 (補助額 25,819)</td> <td>28,400 (補助額 14,200)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 史跡志波城跡用地取得事業及び史跡整備事業 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">要望内容</th> <th rowspan="2">要望成果</th> </tr> <tr> <th>項 目</th> <th>要望額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>史跡整備</td> <td>7,808 (補助額 3,904)</td> <td>3,625 (補助額 1,750)</td> </tr> <tr> <td>用地取得</td> <td>38,770 (補助額 16,532)</td> <td>38,279 (補助額 13,224)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>46,578 (補助額 20,436)</td> <td>41,904 (補助額 14,974)</td> </tr> </tbody> </table>	要望内容		要望成果	項 目	要望額	藤棚・階段・バラ園撤去工事	5,057	4,702	二ノ丸・三ノ丸・鶴ヶ池樹木伐採工事	14,749	6,548	電線地中化整備工事	12,024	—	三ノ丸北西部石垣修復等実施計画	8,629	8,026	藤棚・階段・バラ園撤去設計, 遺構測量	4,515	3,754	石垣変位調査・石垣基礎調査	2,000	2,000	整備委員会・発掘調査等	4,664	3,370	計	51,638 (補助額 25,819)	28,400 (補助額 14,200)	要望内容		要望成果	項 目	要望額	史跡整備	7,808 (補助額 3,904)	3,625 (補助額 1,750)	用地取得	38,770 (補助額 16,532)	38,279 (補助額 13,224)	計	46,578 (補助額 20,436)	41,904 (補助額 14,974)
要望内容		要望成果																																											
項 目	要望額																																												
藤棚・階段・バラ園撤去工事	5,057	4,702																																											
二ノ丸・三ノ丸・鶴ヶ池樹木伐採工事	14,749	6,548																																											
電線地中化整備工事	12,024	—																																											
三ノ丸北西部石垣修復等実施計画	8,629	8,026																																											
藤棚・階段・バラ園撤去設計, 遺構測量	4,515	3,754																																											
石垣変位調査・石垣基礎調査	2,000	2,000																																											
整備委員会・発掘調査等	4,664	3,370																																											
計	51,638 (補助額 25,819)	28,400 (補助額 14,200)																																											
要望内容		要望成果																																											
項 目	要望額																																												
史跡整備	7,808 (補助額 3,904)	3,625 (補助額 1,750)																																											
用地取得	38,770 (補助額 16,532)	38,279 (補助額 13,224)																																											
計	46,578 (補助額 20,436)	41,904 (補助額 14,974)																																											

## 平成 29 年度県予算要望成果

( 県のみ要望した項目 2 件 )

No.	件 名	要望成果																																											
1	スポーツ推進施策の充実強化について	<p>・平成 29 年度における関係競技団体への選手強化費の支援を継続。</p> <p>・平成 29 年 4 月に知事部局に文化スポーツ部を新設。</p> <p>「県営体育施設のあり方に関する懇談会」において、市町村との連携・協働、役割分担や、県の財政状況などをも十分に踏まえ、総合的に検討。</p> <p>新たな野球場の整備に関しては、市が平成 29 年度に行うことを予定している民活導入可能性調査の結果等を踏まえ、今後、市と県との間で具体的な協議をしながら検討する。</p> <p>トップスポーツチーム（岩手ビッグブルズ、グルージャ盛岡、釜石シーウェイブス）と連携し、児童生徒を対象としたスポーツ教室や、高齢者を対象とした運動教室の開催など、スポーツによる地域活性化の取組を、各チームと協働しながら進めて参ります。</p>																																											
2	盛岡市内の県道の整備促進について	<p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">要 望 内 容</th> <th rowspan="2">要望成果</th> </tr> <tr> <th>路 線 名</th> <th>地区名</th> <th>工 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続</td> <td>一般県道大ヶ生徳田線</td> <td>徳田橋</td> <td>橋梁架替</td> <td style="text-align: right;">415,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">"</td> <td>一般県道渋民川又線・ 主要地方道盛岡環状線</td> <td>門前寺, 白沢, 鷹高, 川又地区</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">"</td> <td>一般県道大更好摩線・ 好摩停車場線</td> <td>好摩地区</td> <td>交通安全</td> <td style="text-align: right;">42,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">"</td> <td>都市計画道路向中野安倍館線</td> <td>上堂地区</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">"</td> <td>都市計画道路盛岡駅長田町線</td> <td>長田町地区</td> <td>道路改築</td> <td style="text-align: right;">55,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">"</td> <td>都市計画道路盛岡駅本宮線</td> <td>杜の大橋</td> <td>道路改築 橋梁</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">512,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 県の当初予算額であり、国の交付金内示額とは異なる。</p>	区分	要 望 内 容			要望成果	路 線 名	地区名	工 種	継続	一般県道大ヶ生徳田線	徳田橋	橋梁架替	415,000	"	一般県道渋民川又線・ 主要地方道盛岡環状線	門前寺, 白沢, 鷹高, 川又地区	—	—	"	一般県道大更好摩線・ 好摩停車場線	好摩地区	交通安全	42,000	"	都市計画道路向中野安倍館線	上堂地区	—	—	"	都市計画道路盛岡駅長田町線	長田町地区	道路改築	55,000	"	都市計画道路盛岡駅本宮線	杜の大橋	道路改築 橋梁	0	計				512,000
区分	要 望 内 容			要望成果																																									
	路 線 名	地区名	工 種																																										
継続	一般県道大ヶ生徳田線	徳田橋	橋梁架替	415,000																																									
"	一般県道渋民川又線・ 主要地方道盛岡環状線	門前寺, 白沢, 鷹高, 川又地区	—	—																																									
"	一般県道大更好摩線・ 好摩停車場線	好摩地区	交通安全	42,000																																									
"	都市計画道路向中野安倍館線	上堂地区	—	—																																									
"	都市計画道路盛岡駅長田町線	長田町地区	道路改築	55,000																																									
"	都市計画道路盛岡駅本宮線	杜の大橋	道路改築 橋梁	0																																									
計				512,000																																									